

令和3年度(2021年度)

公益財団法人真庭エスパス文化振興財団

決算報告書

令和4年(2022年)6月

公益財団法人真庭エスパス文化振興財団

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	78,212,273	68,167,462	10,044,811
未収金	37,136,033	38,888,545	△ 1,752,512
前払金	153,010	163,580	△ 10,570
立替金	69,874	56,562	13,312
仮払金	1,361,545	218,607	1,142,938
貯蔵品	5,076,293	2,951,117	2,125,176
流動資産合計	122,009,028	110,445,873	11,563,155
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2) 特定資産			
特定費用準備資金	149,000,000	122,000,000	27,000,000
文化事業特定預金	0	300,000	△ 300,000
特定資産合計	149,000,000	122,300,000	26,700,000
(3) その他固定資産			
建物	40,700	203,500	△ 162,800
車両運搬具	1	1	0
什器備品	2,777,031	3,725,196	△ 948,165
敷金	68,000	0	68,000
預託金	8,900	8,900	0
ソフトウェア	7,748,704	9,618,480	△ 1,869,776
その他の固定資産合計	10,643,336	13,556,077	△ 2,912,741
固定資産合計	259,643,336	235,856,077	23,787,259
資産合計	381,652,364	346,301,950	35,350,414
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	24,210,991	24,606,389	△ 395,398
前受金	2,373,000	3,507,400	△ 1,134,400
預り金	33,350	1,300	32,050
仮受金	203,445	198,337	5,108
従業員預り金	367,465	337,536	29,929
流動負債合計	27,188,251	28,650,962	△ 1,462,711
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	27,188,251	28,650,962	△ 1,462,711
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	0	300,000	△ 300,000
指定正味財産合計	0	300,000	△ 300,000
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(△ 300,000)	(300,000)
2. 一般正味財産			
一般正味財産	354,464,113	317,350,988	37,113,125
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(△ 149,000,000)	(△ 122,000,000)	(△ 27,000,000)
正味財産合計	354,464,113	317,650,988	36,813,125
負債及び正味財産合計	381,652,364	346,301,950	35,350,414

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科	目	当年度	前年度	増	減
I	一般正味財産増減の部				
1.	経常増減の部				
(1)	経常収益				
	基本財産運用益	2,074	10,373	△	8,299
	基本財産受取利息	2,074	10,373	△	8,299
	受取会費	2,812,600	2,574,300		238,300
	ホール会員会費	1,098,500	831,000		267,500
	少年少女合唱団会員会費	251,900	286,800	△	34,900
	混声合唱団会員会費	662,300	699,800	△	37,500
	管弦楽団会員会費	568,500	515,400		53,100
	弦楽教室会員会費	137,500	127,600		9,900
	和太鼓クラブ会員会費	93,900	113,700	△	19,800
	事業収益	273,330,340	264,614,547		8,715,793
	事業入場料収益	11,147,550	1,577,220		9,570,330
	招待入場料収益	172,700	33,000		139,700
	広告料収益	3,118,120	4,161,828	△	1,043,708
	番組制作料収益	9,158,146	9,358,421	△	200,275
	売上収益	4,329,924	3,570,778		759,146
	利用料金等収益	245,403,900	245,913,300	△	509,400
	受取運営受託金等	171,899,062	160,508,831		11,390,231
	受取運営受託金	23,405,470	22,855,118		550,352
	受取指定管理料	82,803,000	82,421,000		382,000
	特別業務受託料(その他)	65,690,592	55,232,713		10,457,879
	受取助成金	1,409,000	4,015,803	△	2,606,803
	受取助成金	1,409,000	4,015,803	△	2,606,803
	受取負担金	19,393,665	17,898,280		1,495,385
	各種参加受取負担金	328,400	254,700		73,700
	工事受取負担金	8,101,265	8,231,580	△	130,315
	加入受取負担金	10,964,000	9,412,000		1,552,000
	受取寄付金	300,000	300,000		0
	受取寄付金振替額	300,000	300,000		0
	施設使用料	4,463,295	3,908,590		554,705
	施設使用料	4,463,295	3,908,590		554,705
	雑収益	612,213	890,113	△	277,900
	受取利息	2,657	2,535		122
	雑収益	609,556	887,578	△	278,022
	経常収益計	474,222,249	454,720,837		19,501,412
(2)	経常費用				
	事業費	415,971,133	394,659,334		21,311,799
	給与手当	118,938,670	113,536,435		5,402,235
	賃金	218,355	31,800		186,555
	福利厚生費	21,256,254	21,090,315		165,939
	旅費交通費	1,223,730	1,366,386	△	142,656
	通信運搬費	2,753,370	2,979,017	△	225,647
	消耗什器備品費	724,617	1,502,071	△	777,454
	消耗品費	3,786,927	5,183,946	△	1,397,019
	修繕費	3,940,425	3,631,038		309,387
	印刷製本費	3,857,147	4,239,089	△	381,942
	燃料費	592,167	516,681		75,486
	光熱水料費	17,135,811	15,990,305		1,145,506
	賃借料	4,740,692	4,513,148		227,544
	災害保険料	247,373	248,948	△	1,575
	租税公課	17,485,230	15,842,095		1,643,135
	租税公課(法人税)	4,245,900	3,332,600		913,300

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
工事費	37,169,571	43,276,347	△ 6,106,776
業務委託費	68,543,494	78,554,425	△ 10,010,931
支払手数料	4,827,245	4,051,572	775,673
新聞図書資料費	810,612	0	810,612
食糧費	406,294	192,132	214,162
減価償却費	4,805,856	1,892,761	2,913,095
諸謝金	5,110,469	4,401,500	708,969
雑費	600	54,286	△ 53,686
宣伝広告費	1,084,092	1,451,960	△ 367,868
出演料	21,727,220	4,955,320	16,771,900
著作物使用料	5,956,367	5,447,700	508,667
使用料	57,360	0	57,360
仕入材料費	15,261,285	3,491,457	11,769,828
施設納付金	48,878,000	52,886,000	△ 4,008,000
地代家賃	186,000	0	186,000
管理費	23,263,167	19,283,125	3,980,042
役員報酬	4,122,950	4,988,500	△ 865,550
給与手当	7,626,434	6,444,844	1,181,590
福利厚生費	1,656,606	1,451,696	204,910
会議費	15,936	18,306	△ 2,370
旅費交通費	726,232	282,440	443,792
通信運搬費	406,472	174,885	231,587
消耗品費	168,321	210,944	△ 42,623
修繕費	145,718	374,949	△ 229,231
印刷製本費	87,743	26,667	61,076
燃料費	23,361	69,830	△ 46,469
光熱水料費	1,416,819	575,671	841,148
賃借料	434,208	469,551	△ 35,343
災害保険料	10,807	10,259	548
租税公課	2,135,420	1,140,004	995,416
諸会費負担金	680,750	544,850	135,900
業務委託費	2,059,615	1,851,160	208,455
支払手数料	398,774	153,519	245,255
新聞図書資料費	111,420	104,700	6,720
交際費	150,481	51,524	98,957
食糧費	26,407	39,222	△ 12,815
減価償却費	636,693	254,604	382,089
雑費	213,000	45,000	168,000
地代家賃	9,000	0	9,000
期首貯蔵品棚卸高	2,951,117	590,734	2,360,383
期末貯蔵品棚卸高	5,076,293	2,951,117	2,125,176
経常費用計	437,109,124	411,582,076	25,527,048
評価損益調整前経常増減額	37,113,125	43,138,761	△ 6,025,636
当期経常増減額	37,113,125	43,138,761	△ 6,025,636
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
(2) 経常外費用			
当期一般正味財産増減額	37,113,125	43,138,761	△ 6,025,636
一般正味財産増減額	37,113,125	43,138,761	△ 6,025,636
一般正味財産期首残高	317,350,988	274,212,227	43,138,761
一般正味財産期末残高	354,464,113	317,350,988	37,113,125
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0

科	目	当 年 度	前 年 度	増	減
	特定資産評価益	0	0		0
	基本財産評価損	0	0		0
	特定資産評価損	0	0		0
	一般正味財産への振替額	300,000	300,000		0
	当期指定正味財産増減額	△ 300,000	△ 300,000		0
	指定正味財産期首残高	300,000	600,000	△	300,000
	指定正味財産期末残高	0	300,000	△	300,000
Ⅲ	正味財産期末残高				
	正味財産期末残高	354,464,113	317,650,988		36,813,125

財 産 目 録

令和 4 年 3 月 31 日 現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	660,086
	普通預金	JA晴れの国岡山 久世	公益、収益、法人会計共用	31,040,633
		JA晴れの国岡山 久世	共用	8,920,162
		JA晴れの国岡山 久世	収益事業	4,802,074
		中国銀行 久世支店	共用	18,571,782
		中国銀行 久世支店	共用	3,240
		津山信用金庫 久世	共用	277,106
		津山信用金庫 久世	公益目的事業 (利用料金)	83,310
		倉吉信用金庫 真庭	公益目的事業 (利用料金)	6,568
		備北信用金庫 北房	公益目的事業 (利用料金)	4,193
		トマト銀行 久世支店	公益目的事業 (利用料金)	8,061,256
		JA晴れの国岡山 北房	公益目的事業 (利用料金)	1,980,130
		ゆうちょ銀行	公益目的事業 (利用料金)	54,115
	定期預金	JA晴れの国岡山 久世	公益、法人会計の財源	3,747,618
	未収金			37,136,033
	前払金			153,010
	立替金			69,874
	仮払金			1,361,545
	貯蔵品			5,076,293
流動資産合計				122,009,028
(固定資産)				
基本財産	基本財産定期預金	JA晴れの国岡山 久世	公益、法人会計の財源	100,000,000
特定資産	特定費用準備資金	JA晴れの国岡山 久世	サマーライブ事業積立	16,000,000
		JA晴れの国岡山 久世	支障移転等工事積立	35,000,000
		JA晴れの国岡山 久世	設備管理システム構築積立	92,000,000
		JA晴れの国岡山 久世	舞台設備更新事業積立	6,000,000
その他固定資産	建物		共用	40,700
	車両運搬具		共用	1
	什器備品		共用	2,777,031
	ソフトウェア		共用	7,748,704
	敷金		共用	68,000
	預託金		共用	8,900
固定資産合計				259,643,336
資産合計				381,652,364
(流動負債)				
	未払金			24,210,991
	前受金			2,373,000
	預り金			33,350
	仮受金			203,445
	従業員預り金			367,465
流動負債合計				27,188,251
(固定負債)				
固定負債合計				
負債合計				27,188,251
正味財産				354,464,113

公益目的保有財産の明細

財産種別	公益認定前取得 不可欠特定財産	公益認定後取得 不可欠特定財産	その他の 公益目的保有財産	使用事業
建物			プレハブ 40,700円	公益目的事業他
車両運搬具			ススキヤリ4WD 1円	公益目的事業他
什器備品			移動調光ユニット他 2,777,031円	公益目的事業他
ソフトウェア			MITホームページ他 7,748,704円	公益目的事業他
敷金			コモ代沢 68,000円	公益目的事業他
預託金			ススキヤリ4WD 8,900円	公益目的事業他
合計			10,643,336円	

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

当財団の主な業務は真庭市からの指定管理業務となっている。

2. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法 (ただし、建物は定額法)

無形固定資産 定額法

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

(1) 財務諸表の体系

平成24年4月1日から公益法人会計基準（内閣府公益認定等委員会平成20年4月11日）を採用している。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産定期預金	100,000,000			100,000,000
小 計	100,000,000			100,000,000
特定資産				
特定費用準備資金	122,000,000	27,000,000		149,000,000
文化事業特定預金	300,000		300,000	
小 計	122,300,000	27,000,000	300,000	149,000,000
合 計	222,300,000	27,000,000	300,000	249,000,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本財産定期預金	100,000,000	()	(100,000,000)	()
小 計	100,000,000	()	(100,000,000)	()
特定資産				
特定費用準備資金	149,000,000	()	(149,000,000)	()
小 計	149,000,000	()	(149,000,000)	()
合 計	249,000,000	()	(249,000,000)	()

6. 担保に供している資産

なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（直接法により減価償却を行っている場合）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	325,600	284,900	40,700
車両運搬具	345,600	345,599	1
什器備品	7,507,528	4,730,497	2,777,031
ソフトウェア	11,657,200	3,908,496	7,748,704
合 計	19,835,928	9,269,492	10,566,436

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残（貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合）

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	37,136,033		37,136,033
合 計	37,136,033		37,136,033

収 支 計 算 書

令和 3 年 4 月 1 日 から 令和 4 年 3 月 31 日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	3,000	2,074	926	
基本財産利息収入	3,000	2,074	926	
会費収入	2,586,000	2,812,600	△ 226,600	
ホール会員会費収入	1,070,000	1,098,500	△ 28,500	
少年少女合唱団会費収入	245,000	251,900	△ 6,900	
混声合唱団会員会費収入	616,000	662,300	△ 46,300	
管弦楽団会員会費収入	458,000	568,500	△ 110,500	
弦楽教室会員会費収入	115,000	137,500	△ 22,500	
和太鼓クラブ会員会費収入	82,000	93,900	△ 11,900	
事業収入	268,856,000	273,330,340	△ 4,474,340	
事業入場料収入	10,910,000	11,147,550	△ 237,550	
招待入場料収入	0	172,700	△ 172,700	
広告料収入	2,900,000	3,118,120	△ 218,120	
番組制作料収入	8,500,000	9,158,146	△ 658,146	
売上収入	4,196,000	4,329,924	△ 133,924	
利用料金等収入	242,350,000	245,403,900	△ 3,053,900	
受取運営受託金収入	169,658,000	171,899,062	△ 2,241,062	
受取運営受託金収入	23,406,000	23,405,470	530	
受取指定管理料収入	82,803,000	82,803,000	0	
特別受託料収入(その他)	63,449,000	65,690,592	△ 2,241,592	
受取助成金収入	1,455,000	1,409,000	46,000	
受取国庫補助金収入	1,455,000	1,409,000	46,000	
負担金収入	17,001,000	19,393,665	△ 2,392,665	
各種参加受取負担金収入	327,000	328,400	△ 1,400	
工事受取負担金収入	7,058,000	8,101,265	△ 1,043,265	
加入受取負担金	9,616,000	10,964,000	△ 1,348,000	
施設使用料収入	4,320,000	4,463,295	△ 143,295	
施設使用料収入	4,320,000	4,463,295	△ 143,295	
雑収入	753,000	612,213	140,787	
受取利息収入	2,000	2,657	△ 657	
雑収入	751,000	609,556	141,444	
事業活動収入計	464,632,000	473,922,249	△ 9,290,249	
2. 事業活動支出				
事業費支出	435,548,000	411,165,277	24,382,723	
給料手当支出	125,504,000	118,938,670	6,565,330	
賃金支出	554,000	218,355	335,645	
福利厚生費支出	23,546,000	21,256,254	2,289,746	
会議費支出	5,000	0	5,000	
旅費交通費支出	1,377,000	1,223,730	153,270	
通信運搬費支出	3,402,000	2,753,370	648,630	
消耗什器備品費支出	2,950,000	724,617	2,225,383	
消耗品費支出	4,436,000	3,786,927	649,073	
修繕費支出	4,089,000	3,940,425	148,575	
印刷製本費支出	4,096,000	3,857,147	238,853	
燃料費支出	787,000	592,167	194,833	
光熱水料費支出	17,520,000	17,135,811	384,189	
賃借料支出	5,515,000	4,740,692	774,308	
災害保険料支出	292,000	247,373	44,627	
租税公課支出	17,686,000	17,485,230	200,770	
租税公課(法人税)支出	4,417,000	4,245,900	171,100	
工事費支出	42,555,000	37,169,571	5,385,429	
業務委託費支出	70,611,000	68,543,494	2,067,506	
支払手数料支出	5,035,000	4,827,245	207,755	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
新聞図書資料費	811,000	810,612	388	
食糧費支出	483,000	406,294	76,706	
諸謝金支出	5,170,000	5,110,469	59,531	
雑支出	364,000	600	363,400	
宣伝広告費支出	1,153,000	1,084,092	68,908	
出演料支出	22,258,000	21,727,220	530,780	
著作物使用料支出	6,515,000	5,956,367	558,633	
使用料支出	58,000	57,360	640	
仕入材料費支出	15,295,000	15,261,285	33,715	
施設納付金支出	48,878,000	48,878,000	0	
地代家賃	186,000	186,000	0	
管理費支出	23,623,000	22,626,474	996,526	
役員報酬支出	4,428,000	4,122,950	305,050	
給料手当支出	7,762,000	7,626,434	135,566	
福利厚生費支出	1,742,000	1,656,606	85,394	
会議費支出	20,000	15,936	4,064	
旅費交通費支出	739,000	726,232	12,768	
通信運搬費支出	445,000	406,472	38,528	
消耗品費支出	220,000	168,321	51,679	
修繕費支出	159,000	145,718	13,282	
印刷製本費支出	89,000	87,743	1,257	
燃料費支出	32,000	23,361	8,639	
光熱水料費支出	1,454,000	1,416,819	37,181	
賃借料支出	510,000	434,208	75,792	
災害保険料支出	13,000	10,807	2,193	
租税公課支出	2,178,000	2,135,420	42,580	
負担金支出	726,000	680,750	45,250	
業務委託費支出	2,127,000	2,059,615	67,385	
支払手数料支出	400,000	398,774	1,226	
新聞図書資料費支出	122,000	111,420	10,580	
交際費支出	157,000	150,481	6,519	
食糧費支出	30,000	26,407	3,593	
雑支出	261,000	213,000	48,000	
地代家賃支出	9,000	9,000	0	
事業活動支出計	459,171,000	433,791,751	25,379,249	
事業活動収支差額	5,461,000	40,130,498	△ 34,669,498	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
基本財産取崩収入	0	0	0	
特定資産取崩収入	27,300,000	300,000	27,000,000	
特定費用準備資金取崩収入	27,000,000	0	27,000,000	
文化事業特定預金取崩収入	300,000	300,000	0	
固定資産売却収入	0	0	0	
投資有価証券売却収入	0	0	0	
敷金・保証金戻収入	0	0	0	
投資活動収入計	27,300,000	300,000	27,000,000	
2. 投資活動支出				
基本財産取得支出	0	0	0	
特定資産取得支出	27,000,000	27,000,000	0	
特定費用準備資金積立支出	27,000,000	27,000,000	0	
固定資産取得支出	2,463,000	2,461,808	1,192	
什器備品購入支出	1,939,000	1,938,208	792	
ソフトウェア購入支出	524,000	523,600	400	
投資有価証券取得支出	0	0	0	
敷金・保証金支出	68,000	68,000	0	
敷金支出	68,000	68,000	0	
投資活動支出計	29,531,000	29,529,808	1,192	
投資活動収支差額	△ 2,231,000	△ 29,229,808	26,998,808	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				

科	目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
	借入金収入	0	0	0	
	財務活動収入計	0	0	0	
2.	財務活動支出				
	借入金返済支出	0	0	0	
	財務活動支出計	0	0	0	
	財務活動収支差額	0	0	0	
	他会計振替	0	0	0	
IV	予備費支出				
	予備費支出	3,230,000	0	3,230,000	
	当期収支差額	0	10,900,690	△ 10,900,690	
	前期繰越収支差額	0	78,843,794	△ 78,843,794	
	次期繰越収支差額	0	89,744,484	△ 89,744,484	

令和4年5月26日

監査報告書

公益財団法人真庭エスパス文化振興財団
理事長 澁澤 壽一 様

監事 山中俊男 

監事 矢谷佳子 

私たち監事は、令和3年4月1日～令和4年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。

その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について監査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について監査いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益状況を適正に示しているものと認めます。

令和3年度

収 支 予 算 書

(当初予算)

公益財団法人真庭エスパス文化振興財団

正味財産増減計算書(当初予算)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

【真庭エスパス文化振興財団】

(単位:千円)

科目名称	本年度予算	前年度予算	比較(増減)	備考
I 正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	3	3	0	
基本財産受取利息	3	3	0	
受取会費	2,860	3,216	△ 356	
ホール会員会費	800	800	0	
少年少女合唱団会員会費	317	344	△ 27	
混声合唱団会員会費	895	1,106	△ 211	
管弦楽団会員会費	542	542	0	
弦楽教室会員会費	147	265	△ 118	
和太鼓クラブ会員会費	159	159	0	
事業収益	266,223	261,424	4,799	
事業入場料収益	14,022	7,397	6,625	
広告料収益	3,500	3,000	500	
番組制作料収益	3,000	2,000	1,000	
売上収益	3,771	6,870	△ 3,099	
利用料金等収益	241,930	242,157	△ 227	
受取運営受託金等	159,316	148,600	10,716	
受取運営受託金	23,406	22,855	551	
受取指定管理料	82,803	82,421	382	
特別業務受託料(その他)	53,107	43,324	9,783	
受取負担金	7,897	7,894	3	
各種参加受取負担金	437	564	△ 127	
工事受取負担金	2,100	2,250	△ 150	
加入受取負担金	5,360	5,080	280	

科目名称	本年度予算	前年度予算	比較(増減)	備考
受取寄付金	300	300	0	
受取寄付金振替額	300	300	0	
施設使用料収益	6,000	6,696	△ 696	
施設使用料	6,000	6,696	△ 696	
雑収益	943	1,410	△ 467	
受取利息	2	3	△ 1	
雑収益	941	1,407	△ 466	
經常収益計	443,542	429,543	13,999	
(2) 經常費用				
事業費	419,939	408,864	11,075	
給与手当	126,549	124,106	2,443	
賃金	554	168	386	
福利厚生費	24,044	24,125	△ 81	
会議費	3	0	3	
旅費交通費	2,784	3,739	△ 955	
通信運搬費	3,534	3,442	92	
消耗什器備品費	750	910	△ 160	
消耗品費	3,079	3,783	△ 704	
修繕費	3,409	3,697	△ 288	
印刷製本費	5,321	5,081	240	
燃料費	897	860	37	
光熱水料費	17,864	19,844	△ 1,980	
賃借料	5,627	5,133	494	
災害保険料	484	356	128	
租税公課	14,305	15,370	△ 1,065	
租税公課(法人税)	3,946	4,211	△ 265	
工事費	42,555	42,630	△ 75	
業務委託費	65,197	67,560	△ 2,363	
支払手数料	4,977	5,868	△ 891	

科目名称	本年度予算	前年度予算	比較(増減)	備考
新聞図書資料費	704	0	704	
食糧費	628	490	138	
減価償却費	1,368	1,091	277	
諸謝金	5,531	4,470	1,061	
雑費	485	623	△ 138	
宣伝広告費	1,317	839	478	
出演料	24,318	9,589	14,729	
著作物使用料	6,621	5,585	1,036	
仕入材料費	4,210	2,408	1,802	
施設納付金	48,878	52,886	△ 4,008	
管理費	23,961	20,327	3,634	
役員報酬	4,466	4,124	342	
給与手当	7,894	7,201	693	
福利厚生費	1,772	1,701	71	
会議費	17	20	△ 3	
旅費交通費	1,499	549	950	
通信運搬費	480	197	283	
消耗品費	169	142	27	
修繕費	154	411	△ 257	
印刷製本費	147	39	108	
燃料費	45	150	△ 105	
光熱水料費	1,397	716	681	
賃借料	575	574	1	
災害保険料	28	14	14	
租税公課	1,095	1,015	80	
諸会費負担金	943	993	△ 50	
業務委託費	2,178	1,746	432	
支払手数料	421	214	207	
新聞図書資料費	127	127	0	

科目名称	本年度予算	前年度予算	比較(増減)	備考
交際費	180	180	0	
食糧費	0	20	△ 20	
減価償却費	132	169	△ 37	
雑費	242	25	217	
期首貯蔵品棚卸高	800	1,080	△ 280	
期末貯蔵品棚卸高	600	0	600	
経常費用計	444,100	430,271	13,829	
評価損益調整前経常増減額	△ 558	△ 728	170	
当期経常増減額	△ 558	△ 728	170	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計			0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計			0	
当期経常外増減額			0	
当期一般正味財産増減額	△ 558	△ 728	170	
一般正味財産期首残高	274,213	240,126	34,087	
一般正味財産期末残高	273,655	239,398	34,257	
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	300	300	0	
当期指定正味財産増減額	△ 300	△ 300	0	
	300	1,200	△ 900	
		900	△ 900	
III 正味財産期末残高	273,655	240,298	33,357	

令和3年度正味財産増減計算書内訳表(当初予算)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

【真庭エスパス文化振興財団】

(単位:千円)

科目名称	公益目的事業会計						収益目的事業会計						法人会計			内部取引控除	合計	
	公1 地域情報化 推進事業	公2 芸術文化 振興事業	公3 文化財保存 活用事業	公4 図書館運営 事業	公益目的事業 共通	小計	取1 CM等作成 放送事業	取2 施設貸与 事業	取3 喫茶運営 事業	他1		収益目的事業 共通	小計	地域情報化 推進事業	芸術文化 振興事業			小計
										その他事業								
								MIT	エスパス									
I 一般正味財産増減の部																		
1. 経常増減の部																		
(1) 経常収益																		
基本財産運用益	0	0					0	0					0	0	3	3	3	
基本財産受取利息	0	0					0	0					0	0	3	3	3	
受取会費	0	2,860				2,860	0	0		0			0	0	0	0	2,860	
ホール会員会費	0	800				800	0	0					0	0	0	0	800	
少年少女合唱団会員会費	0	317				317	0	0					0	0	0	0	317	
混声合唱団会員会費	0	895				895	0	0		0			0	0	0	0	895	
管弦楽団会員会費	0	542				542	0	0					0	0	0	0	542	
弦楽教室会員会費	0	147				147	0	0					0	0	0	0	147	
和太鼓クラブ会員会費	0	159				159	0	0					0	0	0	0	159	
事業収益	231,285	14,022				245,307	6,500	0	3,220	83	468		10,271	10,645	0	10,645	266,223	
事業入場料収益	0	14,022				14,022	0	0	0				0	0	0	0	14,022	
広告料収益	0	0					3,500	0		0			3,500	0	0	0	3,500	
番組制作料収益	0	0					3,000	0					3,000	0	0	0	3,000	
売上収益	0	0					0	0	3,220	83	468		3,771	0	0	0	3,771	
利用料金等収益	231,825	0				231,825	0	0					0	10,645	0	10,645	241,930	
受取運営受託金等	0	55,727	5,404	23,406		84,537	0	13,932		40,818	12,289		67,039	0	7,740	7,740	159,316	
受取運営受託金	0	0		23,406		23,406	0	0			0		0	0	0	0	23,406	
受取指定管理料	0	55,727	5,404			61,131	0	13,932					13,932	0	7,740	7,740	82,803	
特別業務受託料(その他)	0	0					0	0		40,818	12,289		53,107	0	0	0	53,107	
受取負担金	7,460	437				7,897	0	0			0		0	0	0	0	7,897	
各種参加受取負担金	0	437				437	0	0			0		0	0	0	0	437	
工事受取負担金	2,100	0				2,100	0	0					0	0	0	0	2,100	
加入受取負担金	5,360	0				5,360	0	0					0	0	0	0	5,360	
受取寄付金	0	300				300	0	0					0	0	0	0	300	
受取寄付金振替額	0	300				300	0	0					0	0	0	0	300	
施設使用料収益	0	0					0	6,000					6,000	0	0	0	6,000	

科目名称	公益目的事業会計						収益目的事業会計						法人会計			内部取引控除	合計	
	公1	公2	公3	公4	公益目的事業 共通	小計	取1	取2	取3	他1		収益目的事業 共通	小計	地域情報化 推進事業	芸術文化 振興事業			小計
										その他事業								
										MIT	エスパス							
施設使用料	0	0					0	6,000				6,000	0	0	0		6,000	
雑収益	0	0	5	10		15	0	0	120	180	50	350	391	187	578		943	
受取利息	0	0	0	0			0	0	0			0	1	1	2		2	
雑収益	0	0	5	10		15	0	0	120	180	50	350	390	186	576		941	
経常収益計	238,745	73,346	5,409	23,416		340,916	6,500	19,932	3,340	41,081	12,807	83,660	11,036	7,930	18,966		443,542	
(2)経常費用																		
事業費	237,444	81,977	5,409	23,416		348,246	5,940	17,202	4,780	37,108	12,465	77,495	0	0	0		425,741	
給与手当	65,835	26,384	3,905	15,456		111,580	1,801	1,755	2,958	6,059	3,950	16,523					128,103	
賃金	0	300				300	0	0			254	254					554	
福利厚生費	13,082	5,333	605	3,061		22,081	362	353	366	937	480	2,498					24,579	
旅費交通費	1,096	2,099	10	250		3,455	34	4		115	180	333					3,788	
通信運搬費	2,111	1,231	10	70		3,422	7	40	52	20	280	399					3,821	
消耗什器備品費	250	500				750	0	0	0	30		30					780	
消耗品費	944	1,541	60	180		2,725	19	45	30	521	23	638					3,363	
修繕費	1,819	900	50	135		2,904	177	105	0	0		282					3,186	
印刷製本費	1,752	3,099	182	310		5,343	9	22	0	0	53	84					5,427	
燃料費	718	3				721	53	0		0	20	73					794	
光熱水料費	7,445	3,640				11,085	515	6,937	60			7,512					18,597	
賃借料	3,455	994		472		4,921	255	61		100	298	714					5,635	
災害保険料	137	205	17	15		374	13	103				116					490	
租税公課	7,552	2,857	351	1,929		12,689	629	854	224	638	32	2,377					15,066	
租税公課(法人税)	0	0					1,548	406	70	503	552	3,079					3,079	
工事費	43,450	0				43,450	0	0				0					43,450	
業務委託費	25,142	4,965	154	441		30,702	469	6,397	0	27,795	192	34,853					65,555	
支払手数料	2,801	1,826	30	20		4,677	0	44	20		415	479					5,156	
新聞図書資料費	0	0		704		704	0	0				0					704	
食糧費	0	497	5	18		520	0	0			88	88					608	
減価償却費	676	512				1,188	46	74				120					1,308	
諸謝金	990	4,241		300		5,531	0	0		110		110					5,641	
雑費	146	67	30	55		298	3	2	50	280	80	415					713	
宣伝広告費	85	1,100				1,185	0	0		0	132	132					1,317	
出演料	0	19,220				19,220	0	0			5,098	5,098					24,318	

科目名称	公益目的事業会計						収益目的事業会計						法人会計			内部取引控除	合計	
	公1	公2	公3	公4	公益目的事業 共通	小計	取1	取2	取3	他1		収益目的事業 共通	小計	地域情報化 推進事業	芸術文化 振興事業			小計
	地域情報化 推進事業	芸術文化 振興事業	文化財保存 活用事業	図書館運営 事業			CM等作成 放送事業	施設貸与 事業	喫茶運営 事業	その他事業								
					MIT	エスパス												
(1.) 経常外収益																		
経常外収益計																		
(2) 経常外費用																		
経常外費用計																		
当期経常外増減額																		
当期一般正味財産増減額	1,101	△ 8,631	0	0		△ 7,530	560	2,730	△ 1,420	3,973	322		6,165	419	388	807		△ 558
一般正味財産期首残高	0	0			221,797	221,797	0	0				52,416	52,416	0	0	0		274,213
一般正味財産期末残高	1,101	△ 8,631	0	0	221,797	214,267	560	2,730	△ 1,420	3,973	322	52,416	58,581	419	388	807		273,655
II 指定正味財産増減の部																		
受取寄付金																		
一般正味財産振替額		300				300												300
当期指定正味財産増減額		△ 300				△ 300												△ 300
指定正味財産期首残高	0	300			0	300	0	0					0	0	0	0		300
正味指定財産期末残高	0	0			0		0	0					0	0	0	0		0
III 正味財産期末残高	1,101	△ 8,631	0	0	221,797	214,267	560	2,730	△ 1,420	3,973	322	52,416	58,581	419	388	807		273,655

令和3年度収支予算書(当初予算)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

【真庭エスパス文化振興財団】

(単位:千円)

科目名称	本年度予算	前年度予算	比較(増減)	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	3	3	0	
基本財産利息収入	3	3	0	
会費収入	2,860	3,216	△ 356	
ホール会員会費収入	800	800	0	
少年少女合唱団会費収入	317	344	△ 27	
混声合唱団会員会費収入	895	1,106	△ 211	
管弦楽団会員会費収入	542	542	0	
弦楽教室会員会費収入	147	265	△ 118	
和太鼓クラブ会員会費収入	159	159	0	
事業収入	266,223	261,424	4,799	
事業入場料収入	14,022	7,397	6,625	
広告料収入	3,500	3,000	500	
番組制作料収入	3,000	2,000	1,000	
売上収入	3,771	6,870	△ 3,099	
利用料金等収入	241,930	242,157	△ 227	
受取運営受託金収入	159,316	148,600	10,716	
受取運営受託金収入	23,406	22,855	551	
受取指定管理料収入	82,803	82,421	382	
特別受託料収入(その他)	53,107	43,324	9,783	
負担金収入	7,897	7,894	3	
各種参加受取負担金収入	437	564	△ 127	
工事受取負担金収入	2,100	2,250	△ 150	
加入受取負担金	5,360	5,080	280	
施設使用料収入	6,000	6,696	△ 696	

科目名称	本年度予算	前年度予算	比較(増減)	備考
施設使用料収入	6,000	6,696	△ 696	
雑収入	943	1,410	△ 467	
受取利息収入	2	3	△ 1	
雑収入	941	1,407	△ 466	
事業活動収入計	443,242	429,243	13,999	
2. 事業活動支出				
事業費支出	424,433	404,336	20,097	
給料手当支出	128,103	124,106	3,997	
賃金支出	554	168	386	
福利厚生費支出	24,579	24,125	454	
旅費交通費支出	3,788	3,739	49	
通信運搬費支出	3,821	3,442	379	
消耗什器備品費支出	780	910	△ 130	
消耗品費支出	3,363	3,783	△ 420	
修繕費支出	3,186	3,697	△ 511	
印刷製本費支出	5,427	5,081	346	
燃料費支出	794	860	△ 66	
光熱水料費支出	18,597	19,844	△ 1,247	
賃借料支出	5,635	5,133	502	
災害保険料支出	490	356	134	
租税公課支出	15,066	15,370	△ 304	
租税公課(法人税)支出	3,079	4,211	△ 1,132	
工事費支出	43,450	42,630	820	
業務委託費支出	65,555	67,623	△ 2,068	
支払手数料支出	5,156	5,868	△ 712	
新聞図書資料費支出	704	0	704	
食糧費支出	608	490	118	
諸謝金支出	5,641	4,470	1,171	
雑支出	713	623	90	

科目名称	本年度予算	前年度予算	比較(増減)	備考
宣伝広告費支出	1,317	839	478	
出演料支出	24,318	9,589	14,729	
著作物使用料支出	6,621	5,585	1,036	
仕入材料費支出	4,210	2,408	1,802	
施設納付金支出	48,878	52,886	△ 4,008	
管理費支出	17,967	20,095	△ 2,128	
役員報酬支出	2,108	4,124	△ 2,016	
給料手当支出	7,040	7,201	△ 161	
福利厚生費支出	1,645	1,701	△ 56	
会議費支出	20	20	0	
旅費交通費支出	610	549	61	
通信運搬費支出	203	197	6	
消耗品費支出	171	142	29	
修繕費支出	377	411	△ 34	
印刷製本費支出	41	39	2	
燃料費支出	148	150	△ 2	
光熱水料費支出	664	716	△ 52	
賃借料支出	561	574	△ 13	
災害保険料支出	22	14	8	
租税公課支出	1,046	1,015	31	
負担金支出	943	993	△ 50	
業務委託費支出	1,775	1,746	29	
支払手数料支出	242	214	28	
新聞図書資料費支出	127	127	0	
交際費支出	180	180	0	
食糧費支出	20	20	0	
雑支出	24	25	△ 1	
事業活動支出計	442,400	424,431	17,969	
事業活動収支差額	842	4,812	△ 3,970	

科目名称	本年度予算	前年度予算	比較(増減)	備考
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入	28,300	8,800	19,500	
文化事業特定預金取崩収入	300	300	0	
特定費用準備資金取崩収入	28,000	8,500	19,500	
投資活動収入計	28,300	8,800	19,500	
2. 投資活動支出				
当期収支差額	0	△ 3,500	3,500	
投資活動支出計	23,000	8,500	14,500	
特定費用準備資金積立支出	23,000	8,500	14,500	
投資活動収支差額	5,300	300	5,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
予備費支出	6,142	5,112	1,030	
予備費支出	6,142	5,112	1,030	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越金収支差額	0	0	0	
次期繰越金収支差額	0	0	0	

令和 3 年度(2021 年度)

事業計画書

令和 3 年 (2021 年) 3 月

公益財団法人真庭エスパス文化振興財団

公益財団法人真庭エスパス文化振興財団

令和3年度（2021年度）事業計画書

（自：令和3年4月1日 ～ 至：令和4年3月31日）

財団全体に共通する7つのビジョン、各部門においてそれぞれが掲げるビジョンの実現に向けて、次の事業を展開します。

（公財）真庭エスパス文化振興財団のビジョン

1. 誰も文化や情報から置き去りにされない社会の実現を目指します。経済・環境・文化が調和の取れた、心豊かで人間らしい社会の実現に寄与します。（持続可能な開発目標・SDGsの思想）
2. 市民一人ひとりが地域ごとの個性を活かし、さまざまな情報や文化を通して、地域の未来である子どもたちの生きる社会を創造する場と試みを提供します。
3. 情報や芸術文化を日々の暮らしに取り込み、提供することで市民の一体感を育みます。
4. 先人が産み、創り上げてきた文化や想いを受け継ぎ未来へつなぎます。
5. 市民のニーズに寄り添い、協働して新しい文化を創造し発展させます。
6. 財団の事業を融合し活用することにより新たな価値観や暮らし方を産み出します。
7. すべての部門が真庭いきいきテレビと連携して財団の事業を市民に広報します。

◆公益目的事業

- 公1 地域情報化の推進に関する事業
- 公2 芸術文化の振興に関する事業
- 公3 文化財の保存・活用に関する事業
- 公4 図書、記録等を収集、整理、保管して利用者の閲覧に供する事業

◆収益目的事業

- 収1 テレビコマーシャル等の作成、放送事業
- 収2 公益目的以外の施設貸与事業
- 収3 コーヒーショップの運営事業

◆その他の事業

- 他1 その他市からの文化事業等の受託事業
 - (1) 真庭市行政告知関連事業（告知管理・保守事業、告知設置事業）
 - (2) ITヘルプデスク事業
 - (3) 広報真庭一部作成委託業務
 - (4) なつかしの学校給食事業
 - (5) 旧遷喬物品販売事業
 - (6) 観光ボランティアガイド・制服貸与事業
 - (7) 令和3年度音楽アウトリーチ企画・運営業務
 - (8) 勝山文化センター「DRUM TAO」公演実施委託事業
 - (9) 勝山文化センター・ポンテホール舞台管理業務

令和2年度はコロナ禍に見舞われ、事業を十分に行うことができず、残念な1年でありました。今年度も当面はコロナウイルス感染症の収束は望めず、引き続き多くの制約の中で工夫を凝らした運営をします。そしてこういった状況だからこそ、芸術文化により元気と心の豊かさをもたらす様々な事業を展開し、MITを通して情報を共有し市民の一体感を育むコミュニティメディアの役割を果たします。

エスパスも設立して23年が経過して多くの施設設備の改修更新が必要になっており、真庭市と協議し計画的に進めます。また、令和4年の25周年に向けて、記念事業を計画し準備を進めます。

1. 真庭市地域情報化施設（真庭ひかりネットワーク）部門

真庭市地域情報化施設は、施設の設置目的及び、(公財)真庭エスパス文化振興財団のビジョンに沿って「真庭ライフスタイル」を実現するため、真庭ひかりネットワーク施設の維持管理、有効活用と、コミュニティチャンネルの運営をはじめとするケーブルテレビ事業に取り組みます。

<真庭市地域情報化施設（真庭ひかりネットワーク）の設置目的>

- 「農業生産の近代化と地域住民の連携意識の高揚、住民福祉の向上」を目的とし、第3次真庭市情報化計画の基本理念「『モノ』から『ひと』」を実現するための基盤を目指す。
- 真庭市に暮らす「ひと」が情報を共有し、真庭の価値に気づき高めあう「ツール」を目指す。
- 「コミュニティメディア」として施設を活用した「放送コンテンツ」の充実・発信により、「ひと」「まち」「市役所」を繋ぐ役割を担い、「真庭ライフスタイル応援サービス」の実現を目指す。

<真庭市地域情報化施設（真庭ひかりネットワーク）のビジョン>

[施設・設備の維持管理、加入者管理部門（保守管理課）]

- ①施設・設備を正確かつ適正に保守し、情報インフラとしての機能を確保します。
- ②協力会社等と良好な連携や協力関係を維持し、障害時は速やかに復旧します。
- ③真庭市全域に整備された光ファイバ網（情報化施設）が持つ先進性と特徴を市民と共有し、新たな活用方法を全国に向けて発信します。

[真庭いきいきテレビ（報道制作課）]

- ①真庭で起きている重要な事実を市民に伝え、その意味や価値を伝えます。
- ②情報格差の是正に寄与します。
- ③行政情報をはじめ、地域の年中行事や特徴的な取り組みなど、市民が希望を持ち、未来を創造していくための情報を取材し発信します。
- ④市民が参加し、愛し、支えてくれる、市民とともに作り上げるテレビ局、新たなコミュニティや文化の創造を喚起する『真庭市民のためのメディア』を目指します。
- ⑤若い世代が出演する番組、共に制作する番組などを通して、市民が誇りと自信をもち、「住みたい、

育てたい、働きたい」真庭市を創ることを目指します。

- ⑥インターネット配信やデジタルサイネージ等を活用するとともに、スマートフォン等により、市民が真庭いきいきテレビと繋がり、身近で関わりやすいテレビ局になることを目指します。
- ⑦性別や世代、地域を超えたつながりを促進し、市民生活やコミュニティ、真庭の文化やビジネスに動きを起こすことを目指します。課題を共有し解決の糸口をなる、地域コーディネータの役割を担います。

公 1. 地域情報化の推進に関する事業

1. 事業概要

【真庭ひかりネットワーク主要事業】

- (1) 真庭ひかりネットワーク施設、設備の維持管理、運営体制・手法の確立、危機管理対応などによる安定したサービス利用環境の提供
- (2) 地上デジタルテレビジョン放送、有線ラジオ放送サービスの同時再放送
- (3) コミュニティメディアとして持続可能で安心・安全なまちづくりへの寄与
- (4) 各種申請対応、利用料金の収納など、正確で公平・公正な加入者管理の実施
- (5) ケーブルテレビ加入者の増加を図ること

2. 主要事業計画

(1) 真庭ひかりネットワーク施設、設備の維持管理、運営等

真庭市地域情報化施設は、情報の入手・発信など市民生活を支えるインフラであるとともに、真庭ライフスタイルの実現に向けた重要な基盤、ツールであることを認識し、適正な維持管理、運営を実施します。

また、関係各所との良好な関係をもとに必要な保守体制を構築し、安定したサービス利用環境を提供します。

ア. 施設、設備の維持管理

(ア) 日常・定期点検の実施（主なものを記載）

実施概要	実施時期	補足
日常点検		
局舎設置設備のパネルランプ等の目視点検、異音確認	毎日	
ヘッドエンド室、編集室温度測定	毎日	
受信点テレビ受信レベル、品質確認	毎日	
機器アラーム目視点検	毎日	
定期点検		
各サブセンター点検(市内 6 箇所)	1 回/2 ヶ月	
寺畑山受信点点検	2 回/年	
真庭市地域情報化施設 本部施設点検	1 回/年	
寺畑山受信点電源設備点検	1 回/2 ヶ月	
寺畑山配電線路点検及び点検道路草刈り	1 回/年	

自主放送サーバ等定期・年次点検	1回/月	年次は1回/年
-----------------	------	---------

(イ) 設備監視体制の構築

FTTH 監視システム等を活用し、主要設備の 24 時間 365 日監視体制を構築

(ウ) 専門機関との保守契約

専門機関と保守契約を締結し、障害発生時でも速やかに復旧対応が出来る体制を構築

【主な保守、業務委託契約】

概要	契約先	予算額 (千円)
市内全域に整備している光ファイバケーブルの保守契約(IRU 設備運用保守契約)	NTT フィールドテクノ	10,918
自主放送設備、データ放送設備、編集機器等の保守契約	パナソニック NTT データ中国	4,573
加入者宅テレビ受信異常時の調査委託	電商真庭支部	1,800
発電機、受信点電線路の点検業務委託	中国電気保安協会	800

(エ) 屋外工事関連

中国電力等からの支障移転工事や、新規加入に対応した開通工事など、関係各所との協力のもと、安全対策に配慮しながら、必要な工事を適切に実施します。

(オ) その他

日常的に清掃や修繕業務に取り組み、施設の美観維持や保全に努めます。

イ. 計画的な設備更新、修繕工事の実施

加入者に対して安定的なサービスを提供するため、真庭市の協力を得ながら、計画的に設備更新を実施します。令和 3 年度は次に示す設備の更新や修繕対応を予定しています。

【令和 3 年度新規構築設備】

設備概要	対象拠点	予算 (千円)
IRU 設備管理システム導入	—	22,000 (特定費用準備資金)

【令和 3 年度修繕予定設備】

設備概要	対象拠点	予算 (千円)
発電機修繕工事(消耗部品等の交換)	【予定】 本部施設、北房 サブセンター	1,300

※その他

(ア) ニュース、自主制作番組

【制作方針】

●真庭市のコミュニティメディアとして、市民に必要なものや、今、記録すべきものを伝える役割を担う放送

●地域や世代を隔たる壁を取り除き、市民一人一人の繋がりを生み、地域への帰属意識や愛着を産み出すとともに、地域の活性化を担う放送

●地域の課題を見つけ出し、解決の糸口や多くの市民が考えるためのきっかけを作る役割を担う放送



【ニュース番組】



【企画番組】



【生中継番組】

イ. 生中継番組

生中継番組は現場（場所、雰囲気、出演者等）と視聴者を繋ぎ、テレビ放送の価値を高める重要なコンテンツです。真庭いきいきテレビは、1回/月以上の頻度で生中継を実施し、現場の臨場感を視聴者へ届けます。

ウ. コミュニティチャンネル放送内容の充実

(ア) 真庭市アーカイブ事業（新規）

地域で消えつつある言い伝えや習わし、伝統行事、文化、戦争体験などを取材・撮影し、真庭市の今を記録し保存する「アーカイブ化」の取り組みを推進します。

令和3年度は、戦争体験のアーカイブ化に重点に置き、出兵した人だけでなく、家に残り戦時中の家庭を支えた女性や子どもだった人にも取材します。

令和4年度以降は、地域の伝統行事や習わし、言い伝えなども網羅的に取材・撮影を実施します。また、取材対象者の了解を得た上で、コミュニティチャンネル等で放送することで、「真庭の今」を視聴者と共有します。

事業概要	事業区分	実施概要	予算額(千円)
真庭市アーカイブ事業	新規	地域で消えつつある言い伝えや習わし、伝統行事、文化、戦争体験などを取材・撮影し、真庭市の今を記録し保存する「アーカイブ化」の取り組みを推進。令和3年度は「戦争体験」	155 (HDD購入)

(イ) 市民参加型の番組作り

視聴者や市民が主体的にメディア（真庭いきいきテレビ）に参加する「パブリック・アクセス（視聴者が制作）」を働きかけ、市民が真庭いきいきテレビを活用して情報発信や交流を行う「人・情報が集う場作り」に取り組みます。

また、真庭市交流定住センターと連携し、真庭で暮らす人などにスポットを当て紹介する番組等を企画し、コミュニティチャンネル、web 媒体での発信を強化します。

(ウ) ユニバーサル放送・サービスの拡充

真庭市の公共放送として、すべての視聴者が、見やすく、聞きやすく、分かりやすく、安心して視聴できる「人にやさしい」放送・サービスの実現を図ります。

概 要	(1) 聴覚に障がいがある方も、ニュースの内容を理解いただけるよう、ニュースの要点について、テロップ（文字情報）を挿入 (2) 聴覚障害者との意見交換
指 標	県聴覚障害者福祉協会美作支部との意見交換会の開催：1 回/年

(エ) 市民との繋がり強化

概 要	視聴者投稿ビデオの募集と放送
指 標	視聴者投稿（持ち込み）のビデオや写真素材を活用したニュース制作 令和 2 年度…15 件 令和 3 年…10 件以上/年

(オ) 視聴者ニーズの反映

令和 2 年度番組制作アンケートの集計結果を踏まえ、具体的に次のようなカテゴリーのニュース、番組制作を充実させます。

【令和 2 年度番組制作アンケート集計結果】

- a. 視聴したいニュースカテゴリ
 - 1 位：地域行事、イベント（31.2%）
 - 2 位：医療・福祉・健康情報（16.7%）
 - 3 位：災害・防災情報（12.3%）
- b. アンケートの意見
 - ・地域の歴史を振り返り、残すべき伝統の取材
 - ・子どもたちが活躍している姿（スポーツ関連）
 - ・地域のお出かけ情報・新店舗の紹介

エ. その他

下記に示す業務は、従前通り実施します。

- ・サブチャンネル（122ch）
- ・データ放送（お悔やみ、緊急情報、気象情報など）
- ・情報収集
- ・番組表の作成と配布
- ・コンテンツ権利保護
- ・加入者向けアンケートの実施（1 回/年）

(4) 各種申請受付、利用料金の収納など、確実かつ公平・公正な加入者管理

真庭市地域情報化施設の設置及び管理に関する条例、同施行規則や個人情報保護法等の関係法令を遵守し、確実に公平・公正な加入者管理を実施すると共に、関係法令の整備、改正等が行われた場合は、速やかに必要な対応を実施します。

ア.主たる業務内容

業務概要	令和3年度目標
真庭ひかりネットワークの加入申請等の受理及び承認に関する業務 ※令和2年度にオンライン申請ができる手続きを拡充。この利用促進による加入者の利便性向上、業務の効率化を推進	従前とおり実施
真庭ひかりネットワークのサービス開通に関する業務	従前とおり実施
真庭ひかりネットワークの脱退、廃止等に関する業務	従前とおり実施
加入者管理業務	従前とおり実施
利用者対応及び加入促進業務	下記(ア)参照
利用料の収納業務	従前とおり実施

(ア) 加入促進業務

真庭市地域情報化施設が「ひと」「まち」「市役所」を繋ぐためには、多くの市民・団体がケーブルテレビに加入し、真庭市の価値について共有し、情報を発信、交流していくことが重要と考え、施設効用の最大化を図るため、加入促進に取り組みます。

a. 積極的な営業活動の実施

概 要	新築建築中の施主、施工会社、分譲地の管理会社に対して訪問営業活動を行うもの
期 限	年間継続事業
指 標	目標加入率：50%（営業実施に対する加入率）
担 当	保守管理課

b. 地域産品プレゼント

概 要	上記営業活動時や窓口来局時の商材として、テレビ加入者向けに地域産品をプレゼントするもの
期 限	令和3年度
指 標	テレビ新規加入者数：100件/年
予 算	600千円（3,000円×100件、フライヤー等製作費）
担 当	保守管理課

(5) その他

ア. 自己啓発活動への取り組み

コロナ禍の中、多数開催されているオンラインセミナーや研修会等の情報の入手に努め、職員が積極的に自己研鑽を図れる環境作りと、業務に必要な資格や知識の習得を奨励します。

当財団は、市民に提供している地デジの再放送、CATV、光インターネット等のサービス提供基盤である「真庭ひかりネットワーク」と言うインフラを管理、運用しています。この設備を、電気通信技術や AutoCAD といった専門知識を有して管理する事は、安定したサービス提供基盤の維持

管理に繋がると考えています。

また、IT パスポートや問題解決力を身につけることで、市民からの IT に関する問合せに対して、IT 技術の基本的な仕組みや知識に基づいてより正確に回答することができ、地域情報化の推進に寄与します。

例) 資格：線路主任技術者、IT パスポート等

知識：AutoCAD 基礎、問題解決力セミナー等

イ. 市民との交流強化

スタジオ見学が可能な事を番組表や SNS を活用し情報発信を行い、市民が、真庭いきいきテレビの職員や設備と直接交流する機会を設け、関係人口の増加や視聴頻度の向上に取り組みます。

→ スタジオ見学受入れ：5 団体

ウ. 他ケーブルテレビ局との連携、交流

県内外のケーブルテレビ局と良好な関係を構築・維持し、真庭市内の催しや取り組みの情報発信、加入者への市外・県外の催し情報等の提供を行うほか、職員同士の情報交換や交流を通じて技術の研鑽を図ります。

エ. ICT 活用の推進

ICT 技術の進化や、コロナ禍における生活様式の変化により、マイナンバーカードの有効活用、電子申請等、デジタル技術の活用が生活や地域課題の解決を図る上で必要不可欠な時代になっています。

真庭市地域情報施設を管理・運営する公益財団法人として、真庭全体に ICT の浸透を図ることを目標とした事業の計画(=次期指定管理事業提案として活用)を策定します。

令和 3 年度は、一歩目の取り組みとして、コミュニティチャンネルの放送や番組表、YouTube 等を活用し、啓発活動を実施します。加えて、真庭市 dX 戦略計画(第 4 次真庭市情報化計画)がスタートし、実施計画の策定が想定されることから、この動きにも注視します。

事業概要	事業区分	目的・効果	予算額 (千円)
仮称「ICT 寺子屋」	新規	「真庭市内でインターネットを始めるには」「インターネットってなに？」等、テレビを活用して分かり易く解説する番組を制作し、市民が ICT に触れるきっかけを創出	200 (書籍代、番組制作協力謝礼等)

取 1. テレビコマーシャル等の作成、放送事業

1. 事業概要

(1) テレビコマーシャル等の作成、放送事業

市内エリアのみの放送であるが、地元企業や商店にとって唯一の映像による PR となる。

2. 主要事業計画

(1) 映像制作

事業概要	事業	目的・効果	予算額
------	----	-------	-----

	区分		(千円)
映像制作	継続	企業や真庭市の PR 映像・番組の制作	3,000
CM 制作	継続	エスパス法人会員は 10%の割引を適用	3,500

【令和 3 年度 CM 獲得目標】

概要	スポット	イベント	商品プッシュ	長期浸透
放送日数	1 日	5 日	20 日	60 日
放送料金継続 (15 秒)	4,950 円	22,000 円	82,500 円	253,000 円
目標数	30 社	55 社	8 社	2 社
放送料金	148,500	1,210,000	660,000	506,000
制作料金 (静止画)	330,000	605,000	88,000	22,000
合計	478,500	1,815,000	748,000	528,000
総合計	3,569,500 円 (税込)			

他 1. その他市からの文化事業等の受託事業

1. 事業概要

- (1) 真庭市行政告知関連事業（告知管理・保守事業、告知設置事業）
- (2) IT ヘルプデスク事業
- (3) 広報真庭一部作成委託業務

2. 主要事業計画

(1) 真庭市行政情報告知施設の関連事業（告知管理・保守事業、告知設置事業）

新規加入者に対する行政情報告知端末の設置工事や、告知端末の管理・保守、録音放送業務を実施します。

(2) IT ヘルプデスク事業

真庭市の庁内システム及び庁内ネットワークに関する、市職員からの問合せに対応し、システム等利用者の問題解決、システム、ネットワークの利活用を図るためのサポート事業です。

(3) 広報真庭一部作成委託業務

「広報真庭」の『読者の広場』、『ぐるっと真庭まちの話題』、『裏表紙』等、計 7 ページ分を取材・制作する事業です。

その他 令和 3 年度検討事項

1. 事業概要

- (1) 令和 3 年度検討事項

2. 主要事業計画

- (1) 利用料納付環境、方法の検討

真庭ひかりネットワーク利用料の現金納付環境が JA 晴れの国岡山の真庭市内の支店のみであることから、コンビニ収納等の可能性調査、また、キャッシュレス対応の実現について等、検討を行います。

(2) テレワーク環境構築計画の策定

昨今の状況を鑑み、テレワークで実施可能な業務の棚卸や設備構成、構築費用等に係る計画策定を行います。

2. 真庭市久世エスパセンター部門

真庭市久世エスパセンター部門においては、真庭市久世エスパセンター設置条例の設置目的及び、財団が独自に策定した「ビジョン」に則って、真庭市における文化の薫り豊かな潤いと活力ある地域社会の創造と発展に寄与する管理、運営を行い、真庭の芸術文化を育て未来につないでいくことに取り組みます。

今年度は、文化事業担当理事の方々、真庭市担当課と事業検討会を開催し、意見を伺いながら事業内容を決定しました。大きな事業としては、新型コロナウイルス感染症の状況によるリスク等を検討し、野外ライブの代わりとして、2公演を開催します。普段招聘できないようなクラシック公演の開催や真庭市が取り組んでいる「狂言体験授業」の田賀谷狂言会の公演、瀧井敬子氏・旭川荘・真庭市・財団の連携事業「CD録音」を行います。

また、地域と協働した事業では、寺坂昌三書道公演等を開催します。

次世代育成事業では、図書館の読み聞かせと連携して、親子に向けて童謡を歌う会を開催します。

普及支援事業では、エスパ合唱団 20 周年記念特別演奏会を開催します。

<真庭市久世エスパセンターのビジョン>

- ①「文化の世界標準」の視点から、真庭市の人や団体等と情報を共有しながら文化を育て、質の高い文化の体験と真庭の文化資源を融合させ、さらに、次世代に引き継いでいくことを目指します。
- ②市民間交流や次世代の真庭人の育成に寄与し、市民と協働する仕組みの構築を目指します。
- ③地域の未来を担う若者が自由に活動し、表現し、発信することにより、地域の個性や特徴を発見し、自身の夢と暮らしを生み育てていく場としての役割を果たします。
- ④地域ニーズ、意見、希望を取り入れながら、だれもが気兼ねなく交流できる場であり続けます。
- ⑤音楽や演劇など様々なジャンルの鑑賞機会を提供し、真庭市の文化の向上を目指します。
- ⑥あらゆる世代の芸術文化への関心や興味を育てます。
- ⑦音楽以外の分野にも積極的に取り組み、芸術文化の必要性の実感・理解の醸成を進め、文化の薫り豊かな潤いと活力ある地域社会の創造と発展を目指します。

公2 芸術文化の振興に関する事業

本事業は、真庭市において、芸術性に優れた様々な公演の企画・提供、市民が自由に参加できる公演や芸術文化団体の支援、文化水準の向上に向けた人材や団体の育成に取り組むことなどを通じて、真庭市の芸術文化の振興と普及を図ることから、文化及び芸術の振興を目的とする事業です。

1. 事業概要

- (1) 芸術文化鑑賞事業・・・(市民への文化芸術鑑賞機会の提供事業)
- (2) 芸術文化普及・支援事業・・・(市民の創作活動の機会の提供事業)
- (3) 芸術文化育成事業・・・(市民参加の芸術文化育成講座の運営事業)

2. 主要事業計画

(1) 芸術文化鑑賞事業

芸術性に優れた、様々なジャンルにおけるプロを招聘して公演を開催し、市民に優れた芸術文化に触れる機会を提供します。

ア. 芸術性に優れた公演事業

事業概要	実施概要	予算額 (千円)
有森博ピアノリサイタル	希少なロシアシリーズのピアノリサイタルをエスパスで開催	488
佐野隆哉ピアノリサイタル	世界初の山田耕筰ピアノ全曲集をエスパスで制作し、お披露目コンサートの開催	546
勝山文化センターでの公演	普段ホール来られない中高年世代を中心に誘客することによる文化に対する興味の喚起	5,660
勝山文化センターでの公演	普段招聘できないアーティストの公演を開催(サマーライブの特定費用準備資金を使用)	8,205
クラシック公演	普段招聘できないクラシック公演を開催(サマーライブの特定費用準備資金を使用)	4,609
狂言公演	真庭市が取り組んでいる「狂言体験授業」の田賀谷さんの狂言公演を開催	685
芸術文化鑑賞事業全体(全10事業を予定)	芸術性に優れた公演を開催することにより、文化芸術に触れる機会を提供	20,183

イ. 映画上映

公開される作品に応じて、年に数回の上映を予定します。



ウ. 子ども、青少年対象公演

子どもや青少年を対象とした気軽に芸術文化に親しむことができる公演を開催します。真庭市の子どもたちの心豊かな情操を育むため、「小中学校へのプレゼントコンサート」や「幼児対象コンサート」などを実施し、子どもたちの芸術文化に対する興味を引き出します。

- ・市内小中学校へのプレゼントコンサート (岡山フィルハーモニック管弦楽団)

- ・たにぞう手あそび歌あそび音楽会
- ・岡山フィルハーモニック管弦楽団による「親子コンサート」 等

エ. 市内小中学生を対象にしたジュニアシートの実施

次世代の真庭人である真庭市内の小中学生を対象に、芸術文化の普及および鑑賞者育成を目的としたジュニアシートを実施します。ジュニアシートは、希望する小中学生が、無料もしくは高校生以下料金の半額程度で鑑賞できるようにする座席で、指定する主催事業の客席最後部、バルコニー席の概ね 50 席以内とします。

(2) 芸術文化普及・支援事業

市民が出演者として参加する公演や、音楽などの芸術に触れる機会の少ない高齢者等に、芸術文化を身近に感じてもらう機会を提供するとともに、市内芸術団体を支援・協働することにより、真庭市における芸術文化の普及と文化意識の高揚を図ることを目的とする。

ア. 管弦楽団、合唱団等の公演

地域の芸術文化の普及と支援を目的に、専門の講師を選任して、管弦楽団、少年少女合唱団、混声合唱団、第九合唱団等を運営するとともに、技術向上を目的とした弦楽教室を開催し、その成果を発表する場として定期演奏会等を開催します。

- ・エスパス管弦楽団 定期演奏会
- ・エスパス合唱団 第 19 回定期演奏会と 20 周年記念特別演奏会
- ・エスパス第九演奏会
- ・エスパス管弦楽団 New Year Concert 等

イ. ワークショップの開催

市民が芸術文化等に気軽に参加できる機会の提供のため、ワークショップを開催します。

- ・ドラム教室
- ・オリジナルスワークショップ 等



ドラムワークショップ



コントラバスワークショップ

ウ. アマチュア団体等の支援

市内に拠点を置くアマチュア団体等に対して、主催、共催、後援等により、公演または作品を提供します。主催事業では、本格的な音響、照明のステージ等を出演者と協働して作り上げることで、やりがいや満足感を感じてもらい、芸術文化活動の継続や発展に繋がるようサポートします。

- ・宮坂流銭太鼓エスパス公演

- ・ エスパスのど自慢
- ・ Espace Fun Space Festival
- ・ 早川太鼓 エスパスの陣

エ. 地域と協働した地域のシンボルに相応しい発信性のある事業

地域の個人や団体等と協働して、地域に相応しい発信性のある事業を企画し実施します。

- ・ Dance Club Vivo 発表会
- ・ hitosaji no shiawaseten
- ・ ハートフルコンサート
- ・ 彩彩展
- ・ 寺坂昌三書道公演 等



彩彩展



エスパスのど自慢

事業概要	実施概要	予算額 (千円)
創作活動の機会の提供 事業 (全 6 事業を予定)	財団が主催して、地域の芸術文化の普及と支援を目的に、管弦楽団、弦楽教室、合唱団等の運営や各種ワークショップを開催	2,885
市民参加型の公演事業 全体 (全 10 事業を予定)	財団が運営する管弦楽団、弦楽教室、合唱団等の定期演奏会や市民出演公演を開催	5,382
発信性のある事業全体 (全 10 事業を予定)	地域と協働した発信性のある事業を実施	307

(3) 芸術文化育成事業

市民参加による芸術文化育成講座（エスパスオリジナルス）を開催することにより、芸術文化に係る人材や団体の育成を行い、将来の真庭市の文化水準向上に向けた基盤づくりを行うことを目的とする。

ア. 育成のための楽団・教室等の運営

真庭市の芸術文化水準を向上させるための基盤づくりとして、積極的に次世代や市民参加による育成講座に取り組み、それぞれの成果の発表の場を設けます。

- ・ エスパスオリジナルス（少年少女合唱団、和太鼓クラブ、ジュニアオーケストラ、混声合唱団等）の運営

施設の管理運営

ア. 施設及び設備の維持管理

市民に安全に安心して利用してもらうため、施設、設備の日々の巡視点検や、特殊設備の専門業者による点検、維持管理を行います。また、清潔な管理運営を心がけ、快適な施設を提供するとともに、美観の維持に努めます。

真庭市が行う施設、設備の修繕および修繕のための設計を次のとおり予定します。

- ・空調室外機更新工事
- ・2階トイレ入れ替え工事
- ・トイレ手洗い工事

【設備毎の専門業者による点検スケジュール】

点検内容	実施回数(年)	実施時期	備考
館内清掃	12回	毎月	
ねずみ等生息調査	12回	毎月	
空気環境測定	6回	奇数月	
電気設備保安点検	12回	毎月	
電気設備定期点検	1回	随時	
消防設備点検	2回	7月・1月	
防火対象物点検	1回	1月	
舞台設備点検	3回	7月・11月・3月	
舞台照明点検	1回	7月	
舞台音響点検	1回	1月	
自動ドア点検	2回	5月・11月	
冷暖房等設備点検	4回	5月・8月・10月・2月	
エレベーター点検	4回	4月・7月・10月・1月	遠隔監視のメンテナンスは毎月

イ. 利用者の安全

新型コロナウイルスに関しては、利用者に対して継続的に感染症対策を呼び掛けるとともに、3密を避ける、自覚症状のある人の利用自粛を求めるなどの対策を講じます。また、来館時に使用できる手指消毒用アルコール等を設置し、感染が拡大しないよう取り組みます。

利用者の安全を確保するため、避難訓練、AED研修会等を定期的に行います。



AED 研修会



消火栓訓練

ウ. 個人情報保護

個人情報は、「真庭市個人情報保護条例」「真庭エスパス文化振興財団個人情報保護規程」並びに関係法令に則り適切に取り扱います。

エ. その他管理運営に関し必要な業務

利用者等の意見反映のためアンケートを取るなど、市民の声を取り入れるとともに、各種研修会等に参加し、職員のレベルアップを図ります。

また、公益財団法人として、「受益の機会が一般に開かれていること」を基本とし、積極的に広報活動に取り組みます。また、情報の発信基地として、エスパスホワイエに、県内外の各地域のチラシ・ポスターなどを設置し、利用者が観光や、イベント等の情報が得られるようにします。

今年度、財団のホームページをリニューアルし公開します。関係法令に基づき、適切に情報を公開します。

省エネの推進、補助金や助成金の獲得、事務の効率化等、経費の抑制に取り組みます。

真庭 SDGs パートナーとして SDGs を推進するよう取り組みます。

中高生等の職場体験やこども園、小学校の社会見学等を積極的に受け入れます。

公3 文化財の保存・活用に関する事業

本事業は国指定重要文化財である「旧遷喬尋常小学校」の保存と活用をもって芸術文化の振興と地域活性化を目的とする事業です。

1. 事業概要

- (1) 施設の維持管理
- (2) 一般見学のための公開

2. 主要事業計画

(1) 施設の維持管理

ア. 施設及び設備の維持管理

管理を担当する職員を配置し、日常の点検、清掃等を行い、施設の維持、保全及び見学者の安全を確保します。修繕の必要箇所等が生じた場合は市の文化財担当者と協議し、適切に対処します。

(2) 一般見学のための公開

ア. 見学のための施設の公開

旧遷喬尋常小学校ボランティアクラブの協力を得て一般に公開し、見学者等への案内や解説を行い、重要文化財の歴史や建築様式等を伝え、その魅力に触れていただきます。また、市外からのバスツアーなどに対応していきます。

施設の利用申請があった場合は、国指定重要文化財に指定されている意義を尊重し、適切に利用されるよう取り組みます。

いずれも新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、管理運営します。

収2 公益目的以外の施設貸与事業

本事業は、エスパスセンターに備わっているホール、会議室等の諸室を、条例に基づいて一般市民、企業、団体に貸し出す事業です。

1. 事業概要

(1) 施設の貸与

2. 主要事業計画

(1) 施設の貸与

ア. 施設の貸与

財団が運営しているエスパスセンターは、ホール、会議室等の諸室を備えており、条例に基づいて一般市民、企業、団体を対象にした施設貸与事業を行います。

所管課の了解のもと、適切な割引制度を設けて利用促進を図ります。

今年度から、施設利用管理のためのシステムを更新します。

収3 コーヒーショップの運営事業

エスパスセンター来館者を対象にコーヒーや軽食等を提供する喫茶「花水木」を運営し、憩いと交流、芸術文化への関心や興味を育てる場により潤いと活力のある地域社会の創造と発展に寄与します。

1. 事業概要

(1) 喫茶「花水木」の運営

2. 主要事業計画

(1) 喫茶「花水木」の運営

喫茶「花水木」では、来館者にコーヒーや軽食等を提供し、憩いと交流、芸術文化への関心や興味を育てる場を提供します。

市内の有志が毎月開催している「うたごえ喫茶」は、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら開催します。

事業概要	実施概要	予算額 (千円)
コーヒーショップの運営事業	喫茶事業により、来館者に憩いと交流、芸術文化への関心や興味を育てる場を提供	4,780

他1 その他市からの文化事業等の受託事業

本事業は、前記までの公益目的事業、収益目的事業に該当しない事業で、財団の設立目的から逸脱しない事業や、真庭市からの受託により実施する事業とし、令和3年度は、以下の6事業に取り組みます。

1. 事業概要

- (4) なつかしの学校給食事業（新型コロナウイルス感染症対策のため春は中止、状況により判断する。）
- (5) 旧遷喬物品販売事業

- (6) 観光ボランティアガイド・制服貸与事業
(制服貸与事業は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止)
- (7) 令和3年度音楽アウトリーチ企画・運営業務
- (8) 勝山文化センター「DRUM TAO」公演実施委託事業
- (9) 勝山文化センター・ポンテホール舞台管理業務

2. 主要事業計画

(4) なつかしの給食事業

地域を盛り上げていこうと結成された市民ボランティアグループ「まにワッショイ」との協働により開催します。地元産食材による昭和50～60年代のメニューを提供し、地域活性化を図ります。今年度は、前半は中止します。後半も様子を見て判断します。

(5) 旧遷喬物品販売事業

来館者から要望の高かった、お土産品等の販売事業。地元で製造しているお土産品を中心に販売します。

(6) 観光ボランティアガイド・制服貸与事業

(エスパス①、④、⑦)

真庭市雇用創出事業から始まった旧遷喬ボランティアガイドクラブ事業。管理人と市民による観光ボランティアガイドによりバスツアーや観光客に見学ガイドを行います。また、なつかしの学校給食時に人気の制服体験事業は今年度中止します。

(7) 令和3年度音楽アウトリーチ企画・運営業務

真庭市からの受託業務として、真庭市内の小中学校にアーティストを派遣して、質の高い演奏会やワークショップなどを行うことによって、次世代の育成を図る、音楽アウトリーチ事業に取り組みます。

- ・アウトリーチ企画・運営業務 ※年間12回程度を予定



小学校へのアウトリーチ

(8) 勝山文化センター「DRUM TAO」公演実施委託事業

真庭市から、「DRUM TAO 公演」の運営を受託します。

(9) 勝山文化センター・ポンテホール舞台管理業務

真庭市から勝山文化センターのポンテホール舞台管理業務を受託します。

3. 真庭市久世図書館部門

真庭市の図書館で保管する資料をより有意義に活用していくため、今まで図書館を活用していない方にご利用いただくきっかけとなる事業を継続し発展させていくため、書籍紹介コーナーの充実・主催事業の参加から図書館利用へと繋ぐ活動を充実させます。

<真庭市立久世図書館のビジョン>

①子どもの読書習慣の醸成や読書の楽しさ、有用性の浸透の推進に取り組み、本の香りのする真庭を目指します。

②学習拠点としての機能の強化と市民の潜在能力の発掘に取り組みます。

③学校等との連絡を強化し、子供の頃から読書習慣が身につくように導きます。

④図書館が実施する事業を通じて「らしさ」を大切にしながら市民に親しまれ、愛される図書館であり続けます。

公4 図書、記録等を収集、整理、保管して利用者の閲覧に供する事業

本事業は、図書、記録、視聴覚資料その他必要な資料を収集、保管して利用者の閲覧に供し、もって教育と文化の発展に寄与することを目的とする事業です。

1. 事業概要

(1) 図書館運営事業

2. 主要事業計画

(1) 図書館運営事業

ア. 資料の収集保存

利用者の「読みたい」「知りたい」「調べたい」という知的欲求に応える開かれた場として、幼児から高齢者まですべての人の生涯学習の場として、資料の収集、保存と提供に努めるとともに、読書環境の整備に努めます。また、個人情報管理に努め適正に取り扱います。

図書・CD・DVDの傷みにつきましても、職員が修復を施し少しでも長くお客様に提供できるようにします。痛みの激しい資料や保存不要な資料については除籍処分をし、書架の整理に努めます。

イ. 主催事業

昨年度に引き続き、図書館と地域が協働して企画し開催する事業に力を入れます。そして学習拠点としての機能向上・市民の潜在能力の発掘に取り組みます。

【予定行事】

実施回数	内容
週 1 回	おはなし会ぽかぽかえほんぼこ(乳幼児向)
週 1 回	おはなし会おはなし列車(園・小向)
週 2 回	絵本よみきかせボランティア
月 1 回	蔵書整理ボランティア
月 1 回	久世地区内園小中学校等配本
月 1 回	やってみよう！どうぶつしょうぎ
年 4 回	名画鑑賞会(映画上映)
年 4 回	真庭市立図書館全体行事(謎の覆面ブックスあらわる！を含む)
年 1 回	本のリサイクルマーケット
年 1 回	しおりを作ろう！(工作)
年 1 回	きいてほっこり昔語り(昔語り発表会)
年 1 回	講演会
夏休み 5 回	体験！夏休み図書館ボランティア(蔵書整理)
年 4 回	ワークショップ(地域の方講師)
年 1 回	ボランティア講演会
年 1 回	クリスマスカードを作ろう！(工作)
年 1 回	百人一首大会
年 1 回	どうぶつしょうぎ大会

ウ. 協力事業

「令和万葉の会有志の会」「読書会有志の会」「源氏物語有志の会」主催の読書会に、「久世将棋倶楽部」主催の将棋会に、それぞれ毎月 1 回、図書館お話し室を利用させていただき予定であり、他の団体にもご利用いただけるよう活動していきます。

エ. 地区館としての活動

市内 7 か所の図書館が協力し、資料の相互利用をより推進するとともに、サービスの向上に取り組めます。県立図書館の協力支援や岡山県図書館間相互貸借システムを活用し、多様な情報社会に即したサービスの充実に努めます。また、地区館として地域の方の利用を促進するため、久世地区在住の方に参加していただく行事等を開催していきます。

オ. 他施設との連携

久世図書館だけでなく、館外にも読書拠点を作っていただけるよう、学校図書館、教育機関、その他の施設とのさらなる連携を図ります。

その一環として今年度も久世地区内の保育園、幼稚園、小中学校への配本、市内学校やボランティア団体への団体貸出しを実施し児童の読書意欲と読書習慣の形成を図ります。また、読書ボランティアを市内の保育園、幼稚園、小学校に派遣し読み聞かせ活動を行います。



遷喬小学校学習成果展示

さらに、学校での学習成果の図書館展示などを通じて市民の学校への理解を深めていきます。市内の小学校をはじめ各種団体の施設見学等を受け入れ、中学校・高等学校の職場体験学習にも協力します。

カ. 職員の研修業務

岡山県立図書館での研修に加え、県内外の図書館を可能な限り視察し、図書館職員として必要な知識・技術を高め、サービスの向上を目指します。

避難訓練を年2回、AED講習を年1回行い、緊急時に迅速に対応できるように備えます。また、応急処置などの研修も行うなどして安全管理に努めます。

キ. 利用者の意見反映に関すること

お客様からご意見をいただく「おたよりボックス」設置や、行事後の参加者アンケート等を今年度も実施していきます。ボランティア参加者の声を聴く会も引き続き開催して、幅広いニーズに答えていきます。

ク. 広報活動に関すること

図書館だより「まなぶ〜る」を毎月発行し市内各世帯に回覧するとともに、市内施設や学校にも行事ポスターと共に配布します。

また、定期的に行事チラシを園・小・中・高校に配布し広報に努めます。ホームページやFacebook・告知放送・新聞等で随時情報提供を行うと共に、広報まにわや真庭市立図書館だより、エスパス広報紙や真庭いきいきテレビを通じて新着図書案内・行事案内をしていきます。

令和3年度(2021年度)

公益財団法人真庭エスパス文化振興財団

事業報告書

令和4年(2022年)6月

公益財団法人真庭エスパス文化振興財団

－目次－

■全体概要	・・・	1～2
■公益目的事業		
公1 地域情報化の推進に関する事業	・・・	2～11
公2 芸術文化の振興に関する事業	・・・	11～19
公3 文化財の保存、活用に関する事業	・・・	19～20
公4 図書、記録等を収集、整理、保管して利用者の閲覧に供する事業	・・・	21～23
■収益目的事業		
収1 テレビコマーシャル等の作成、放送事業	・・・	24
収2 公益目的以外の施設貸与事業	・・・	24～25
収3 コーヒーショップの運営事業	・・・	25
■その他事業		
他1 その他市からの文化事業等の受託事業	・・・	25～27
■法人管理部門	・・・	27～29

公益財団法人真庭エスパス文化振興財団 令和3年度事業報告書

公益財団法人真庭エスパス文化振興財団共通ビジョン

- 誰も文化や情報から置き去りにされない社会の実現を目指します。経済・環境・文化が調和の取れた、心豊かで人間らしい社会の実現に寄与します。(持続可能な開発目標・SDGsの思想)
- 市民一人ひとりが地域ごとの個性を活かし、さまざまな情報や文化を通して、地域の未来である子どもたちの生きる社会を創造する場と試みを提供します。
- 情報や芸術文化を日々の暮らしに取り込み、提供することで市民の一体感を育みます。
- 先人が産み、創り上げてきた文化や想いを受け継ぎ未来へつなぎます。
- 市民のニーズに寄り添い、協働して新しい文化を創造し発展させます。
- 財団の事業を融合し活用することにより新たな価値観や暮らし方を産み出します。
- すべての部門が真庭いきいきテレビと連携して財団の事業を市民に広報します。

■公益目的事業

- 公1 地域情報化の推進に関する事業(真庭市地域情報化施設関連)
- 公2 芸術文化の振興に関する事業(久世エスパスセンター関連)
- 公3 文化財の保存、活用に関する事業(旧遷喬尋常小学校関連)
- 公4 図書、記録等を収集、整理、保管して利用者の閲覧に供する事業(久世図書館関連)

■収益目的事業

- 収1 テレビコマーシャル等の作成、放送事業
- 収2 公益目的以外の施設貸与事業
- 収3 コーヒーショップの運営事業(喫茶「花水木」関連)

■その他の事業

- 他1 その他市からの文化事業等の受託事業

令和3年度事業総評

令和3年度も新型コロナウイルス感染症が収束せず、様々な制約がある中での運営となりましたが、感染防止対策を徹底し、可能な限り計画していた事業を実施しました。

芸術文化事業においては、中止や延期があったものの主催事業は全て開催しました。中でも「NAOTO&清塚信也 アコースティック・デュオ コンサート」と「SKY-HI」は、コロナ禍にもかかわらず早期完売の盛況でした。

今年度初めて勝山文化センター・ポンテホール舞台管理業務を受託しました。人員配置には苦労しましたが、滞りなく全うすることができました。

MITは、勝山のFUNAYADOにパブリック・アクセスの拠点となる「MIT サテライトスタジオ」を仮オープンし、令和4年4月グランドオープンに向けて準備を整えました。

保守関係では、専用の設備管理システムを構築し、線路図や芯線収容表等を一元的に管理、更新等が実施できるようになりました。また、総務省「利用者向けデジタル活用支援推進事業」に採択され、

主にシニア世代向けのスマートフォン教室を開催し、情報格差の解消に向けた事業が展開できました。
 施設面では、懸案であった空調1期工事が終了し、熱源機がリニューアルされ空調換気能力が向上するとともに、配管の水漏れ箇所が改善されました。

公益目的事業

公1 地域情報化の推進に関する事業

【事業の趣旨】

本事業は、ケーブルテレビによる地域情報（地上デジタルテレビジョンの再放送含む）の発信や行政告知放送によるお知らせや緊急放送等を行うことにより、「地域情報と行政情報の収集、発信による情報格差の是正と市民の一体感の醸成」を図る事業です。

【事業の概要】

- 1 ケーブルテレビによる地域情報の提供（デジタルテレビジョン自主放送）
- 2 地上デジタルテレビジョン放送、有線ラジオ放送サービスの同時再放送
- 3 行政告知放送によるお知らせ、緊急放送等の情報提供

1 ケーブルテレビによる地域情報の提供

コミュニティチャンネルを通じて、持続可能な町づくり、安心・安全な町づくりに寄与するとともに、「真庭ライフスタイル」の具現化や「SDGs 未来都市真庭」の実現に向けて市民と情報を共有し、市民同士が繋がり、活動の輪が広がるよう、コミュニティチャンネルの充実に取り組みました。

【制作方針】

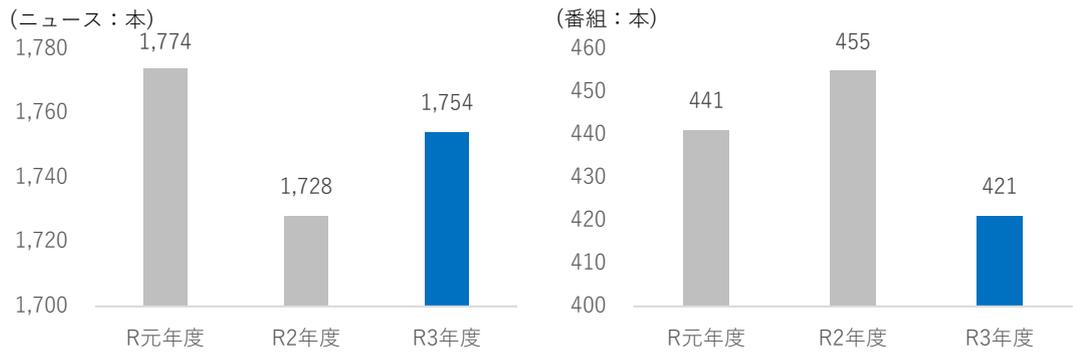
- 真庭市のコミュニティメディアとして市民に必要なもの、今、記録すべきものを伝える役割を担う放送
- 地域や世代を隔てる壁を取り除き、市民一人一人の繋がりを生み、町への帰属意識や愛着を作り出すとともに、地域の活性化を担う放送
- 地域の課題を見つけ出し、解決の糸口や多くの市民が考えるためのきっかけを作る役割を担う放送

(1)メインチャンネルの運営に関すること

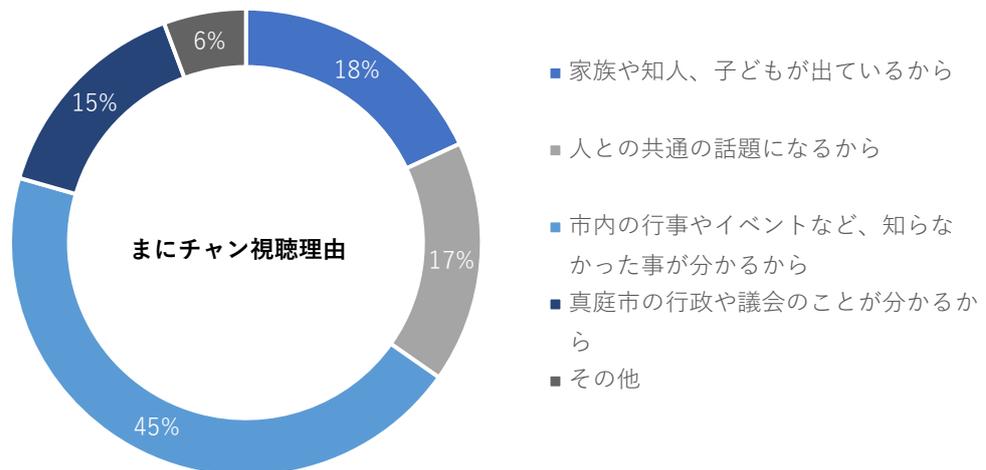
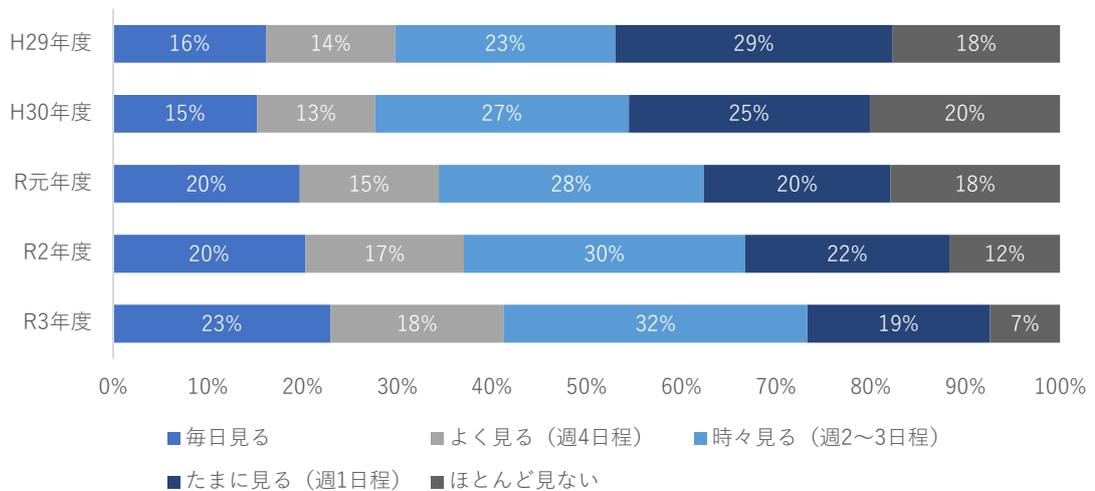
■メインチャンネル放送本数

項目	ニュース	企画番組	お知らせ	合計
放送本数	1,754本	421本	1,065本	3,240本

【別紙】令和3年度真庭いきいきテレビ自主放送実施状況集計表（付属資料 P1）



【視聴頻度の推移】



- 令和元年度から視聴頻度は上昇傾向にある。
- 視聴理由は「市内の行事やイベントなど知らなかった事が分かる」が最多であり、広域な真庭市をきめ細かく取材、放送している事が視聴頻度に繋がっていると推測される。
- 家族や知人、子どもの出演や、共通の話題作りなど、地域のコミュニティメディアとして、市民参加、より多くの市民が画面に映るようなニュース制作、番組作りの基本を踏

まえながら、視聴頻度が上がっている今こそ、新しい視点での番組制作など検討を進めたい。

■令和3年度重点目標

● 真庭市映像記録事業

→ 地域の言い伝えや習わし、伝統行事、文化、戦争体験等を取材・撮影し、「真庭の今」を記録し保存していく事業

→ 令和3年度取材・撮影者数：7人

・北房、勝山、久世、落合の各1人

・蒜山での戦争体験者3人（蒜山、津山市、倉吉市の各1人）

● 市民参加型の番組制作（パブリック・アクセスの推進）

→ ゲストトークの企画・制作

実施概要	旬な人にスポットを当て、スタジオにゲストとして招き、収録と放送を毎月3回～5回実施（新型コロナ感染拡大に伴い6月期は中止）
出演者数	延べ53名（昨年度：50名） ※団体含む

→ お気に入りの時間

実施概要	ペット、市民制作の作品紹介、エスパス少年少女合唱団による童謡コーナーの3本立てによる番組
作品紹介数	団体：17団体、個人：3名

→ 山の上の集落（まち）を行く

実施概要	地域の歴史や現状を振り返りながら、地域課題の解決等に向けて取り組んでいる様子を紹介する番組（令和4年3月末 第48回）
出演者数	団体：4団体、個人：1名

→ Mスポ

実施概要	市内のスポーツ愛好者の活動を、インタビュー等を交えながら紹介するコーナー番組
放送本数	17本

→ 視聴者からの投稿映像・写真の募集と放送

投稿数：映像、写真合わせて30本

放送本数：11本（昨年度：2本）

→ FUNAYADO サテライトスタジオの運営

パブリック・アクセスを推進するため、市民参加による真庭市の情報発信拠点「サテライトスタジオ」を仮オープンし、市民向けの動画撮影講座など、次のような取り組みを実施しました。

名称：FUNAYADO サテライトスタジオ

住所：真庭市勝山201（勝山町並み保存地区内）

開設日：令和3年10月2日（仮オープン）

日付	実施概要	参加者等
令和3年10月2日	FUNAYADO サテライトスタジオ仮オープン（市民、マスコミ向けのお披露目会）	－
令和3年10月23日	サテライトスタジオ紹介生中継	－
令和3年10月30日	動画撮影講座（協力：（株）はこらぼ）	2人
令和3年11月27日	スマートフォン動画撮影講座	4人
令和3年12月11日	オンライン配信技術交流会 （協力：leal.lab）	6人
令和4年1月15日	インスタライブ （杜の妖精を考える会）	3人
令和4年3月19日	話し方講座	1人

●ユニバーサル放送・サービスの拡充

- 聴覚に障がいがある方も、ニュースの内容を理解いただけるよう、ニュースの要点についてテロップ（文字情報）を挿入
- 意見交換会
 - ・開催日：令和4年2月12日
 - ・場 所：久世公民館
 - ・出 席：真庭聴覚障害者コミュニケーションの会「やまなみ」 19人
真庭市福祉課、秘書広報課、真庭いきいきテレビ
 - ・意 見：
 - インタビューなどは字幕があったが他が無いので分からない
 - コロナ対策でマスクを着けているため、口の動きが分からない
 - 字幕を付けるのは大変だと思うが、聞こえない人の立場になって励んでほしい



意見交換会の様子

●視聴者ニーズの反映

- MIT 番組表の見方や番組内容を紹介する「みとすけタイム」の放送実施（令和3年4月～）
- スポーツ少年団や市内のスポーツ愛好者の活動を紹介する「M スポ」の放送実施（令和3年7月～）

■生中継番組

視聴者（市民）と現場を繋ぎ、コミュニティチャンネルの価値を高める重要なコンテンツとして、生中継番組を次のとおり、企画・放送しました。

放送日	放送内容
令和3年4月11日	真庭市長・市議会議員選挙 開票速報
令和3年5月15日	防災サバイバルキャンプ
令和3年6月12日	知っておこう！ あなたの避難ルート
令和3年7月10日～21日	第103回全国高等学校野球選手権 岡山大会 ※実況スタッフとして人員派遣
令和3年7月15日	GREENable HIRUZEN オープン式典
令和3年7月28日～29日	第72回岡山県中学校野球選手権大会
令和3年8月8日	温泉地 湯原でほっとひと息
令和3年9月25日	真庭市消防本部から生中継
令和3年10月23日	FUNAYADO サテライトスタジオ仮オープン
令和3年11月6日	ふるさと勝山もみじまつり花火生中継
令和3年11月28日	真庭市〇〇全地区踏破なるか？！ (宮地地区からの生中継)
令和3年12月11日	ポッチャ やってみようっちゃ！ (久世地区からの生中継)
令和4年1月9日	令和4年 真庭市20歳の集い
令和4年1月21日	令和3年度 真庭SDGs円卓会議
令和4年2月13日	やまびこ EXPO オンライン 2022
令和4年3月26日	守ろう交通ルール

■災害情報、注意喚起情報の発信

大雨警報等の発令情報を、データ放送機能を活用し、遅滞なく発信しました。また、警戒レベル4（大雨洪水警報、土砂災害警戒情報）が発令された際は、L字放送及びサブチャンネルを文字放送に切り替え、高齢者等避難、避難所開設情報を発信しました。

→ L字放送等の対応

・令和3年8月13日 午後4時41分～8月15日 午前8時20分

【その他】

令和3年11月15日、NHK岡山放送局と災害時の映像相互利用等を目的とした覚書を締結しました。

(2)サブチャンネルの運営に関すること

自主・他局制作番組を中心に真庭市議会生中継など年間199本を企画、放送しました。

項目	自主・他局制作番組	市議会生中継	常任委員会	県議会中継	合計
放送本数	137本	21本	9本	32本	199本

(3)情報提供及び情報公開に関すること

ニュース番組「ほっ♡とまにチャン」で情報提供を呼び掛けるとともに、市民や各団体と良好な関係を築き、多くの取材やお知らせ依頼を受け付けました。また、ホームページや SNS 等を活用し、ニュースラインナップ、企画番組の紹介、生中継番組の告知等を行いました。

項目	Facebook			YouTube		
	R3 年度	R2 年度	増減	R3 年度	R2 年度	増減
発信回数	284 件	281 件	+3 件	190 本	204 本	▲14 本
年間閲覧視聴回数	39,204 回	46,176 回	▲6,972 回	135,808 回	140,154 回	▲4,346 回
登録者数等	549 人	503 人	+46 人	1,190 人	893 人	+297 人

(4)その他

次の業務については、基本方針に基づき、適正なサービス提供や対応を実施しました。

- ・データ放送
- ・テロップ送出（警報・注意報、故障時の情報提供など）
- ・番組表の作成と配布
- ・コンテンツ権利保護

2 地上デジタルテレビジョン放送、有線ラジオ放送サービスの同時再放送

適切に設備を維持管理し、以下のデジタルテレビジョン放送、有線ラジオ放送の同時再放送を停波することなく実施しました。

(1)デジタルテレビジョン放送

- ・NHK 総合
- ・NHK E テレ
- ・山陽放送
- ・瀬戸内海放送
- ・岡山放送
- ・西日本放送
- ・テレビせとうち
- ・サンテレビ

(2)有線ラジオ放送

- ・NHK-FM
- ・山陽放送
- ・FM 岡山
- ・NHK 第一

3 行政告知放送によるお知らせ、緊急放送等の情報提供

真庭市からの放送依頼を受けて行政告知放送による「お知らせ放送」と「死亡お悔やみ放送」、また、これらの放送のスケジュールリングを実施しました。

【真庭市地域情報化施設、設備の維持管理】

1 施設及び設備の管理

次に示す取り組みにより、加入者に対して真庭ひかりネットワークのサービスを継続的に安定した状態で提供しました。

(1)施設、設備の維持管理に関すること

日々の日常点検や定期点検に加え、FTTH 監視システム等を活用した主要設備の 24 時間 365 日監視体制を構築するとともに、必要な保守契約を締結し、安定したサービス提供基盤

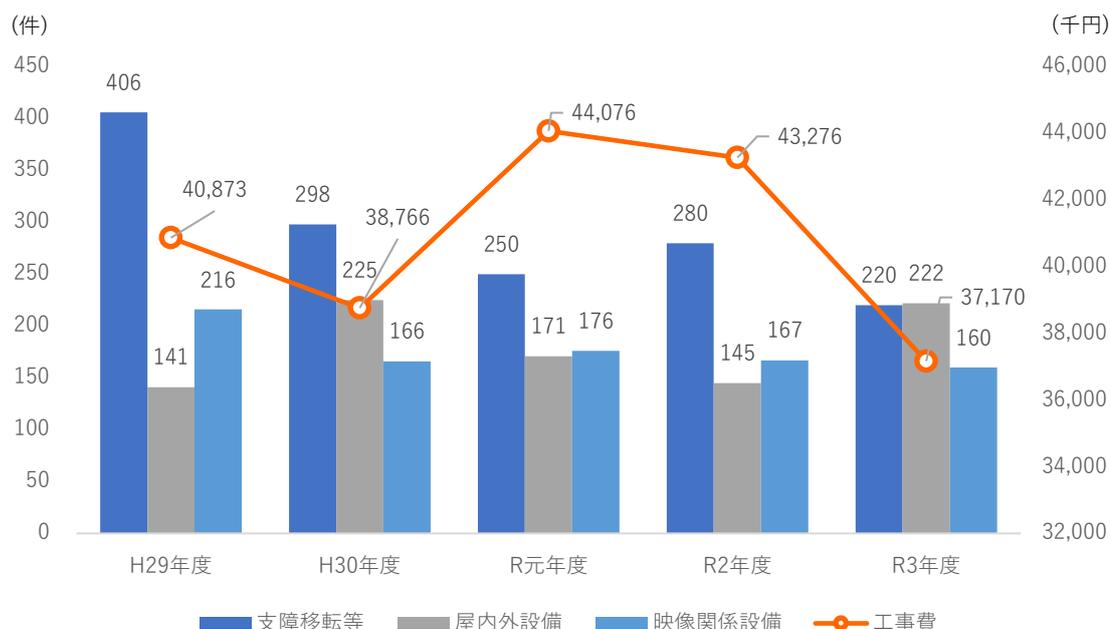
の維持管理に努めました。

→ 期間中の設備補修、故障等の状況

【別紙】令和3年度真庭市地域情報化施設 設備補修・故障等の発生状況一覧
(付属資料 P2)

(2)支障移転等の工事対応に関すること

期間中、中国電力や NTT と行った電柱所有者からのケーブル移設工事や、設備の増設等に速やかに対応しました。



2 設備の更新、修繕工事

真庭市や関連事業者と連携、期間中、次に示す設備の更新、修繕工事等を実施しました。

【令和3年度更改設備（真庭市対応）】

設備概要	対象拠点	補足
マルチチャンネルコントローラ	本部施設	
GPS マスタークロック	本部施設	
久世エスパスセンター通信環境整備工事	—	

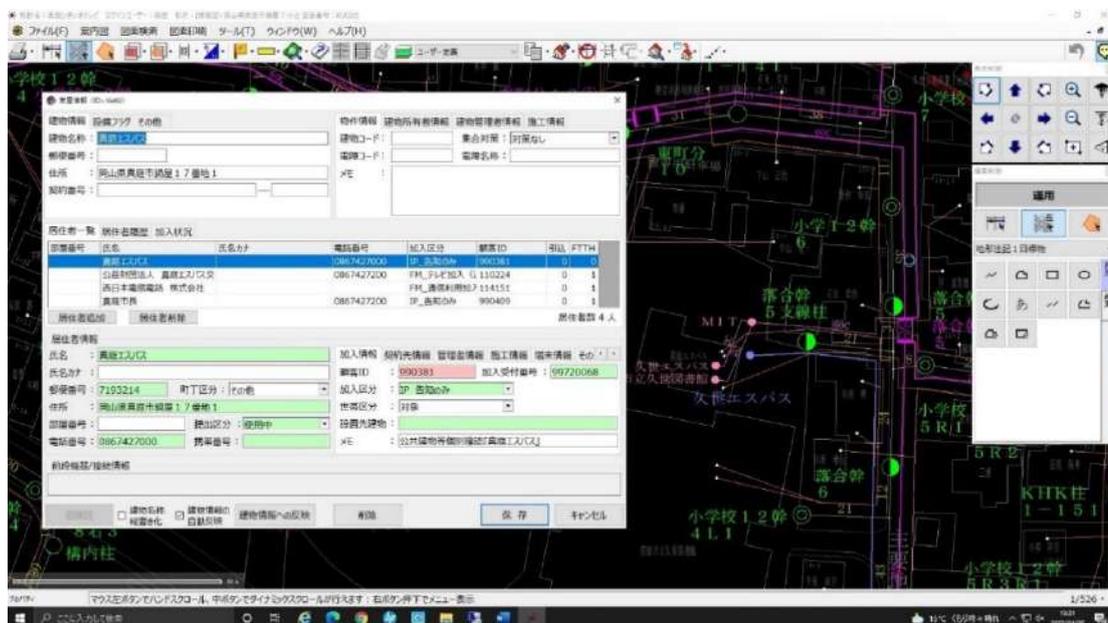
【令和3年度修繕設備】

設備概要	対象拠点	補足
局舎外壁基礎修繕工事	本部施設	
発電機塗装工事	蒜山 SC	
局舎発電機修繕工事	本部施設	
局舎、エスパスセンター高圧電源設備修繕工事	本部施設	真庭市対応
外部変調器電源部、ファン交換	本部施設	
北房 SC 発電機修繕工事	北房 SC	

【その他】

業務を遂行する上で課題であった設備管理について、専用の設備管理システムを構築しました。これにより旧町村単位で管理されていた線路図や芯線収容表等を一つのデータベースに統合し、一元的に管理、更新等が実施できるようになりました。

【システム画面の一例】



3 各種申請対応、利用料の収納等の加入者管理業務

真庭市地域情報化施設の設置及び管理に関する条例、同施行規則や個人情報保護法等の関係法令を遵守し、確実に公平・公正な加入者管理を実施しました。

(1)加入者管理に関すること

加入者の利便性向上と業務効率化のため、令和3年度から名義変更、脱退・廃止、利用再開、休止の4種類の届出について、ホームページから実施出来るように整備しました。

【Web 申請利用状況】

申請種別		Web 申請件数	全体申請件数	Web 利用率
新規加入申請	一般	67 件	374 件	25.9% (R2 年度：19.8%)
	事業所	30 件		
名義変更		6 件	—	—
脱退・廃止		22 件	268 件	8.2%
利用再開		4 件	149 件	2.7%
利用休止		8 件	216 件	3.7%

【令和3年度申請等対応実績】

申請区分	新規加入	区分変更	利用再開	利用休止	脱退	廃止	合計
対応件数	374 件	125 件	149 件	216 件	6 件	262 件	1,132 件

【別紙】令和3年度真庭市地域情報化施設 申請等対応実績一覧（付属資料 P3）

(2)加入促進に関すること

■施設見学の見学等

日時	概要	人数
令和3年9月17日	川上小3～4年生 スタジオ見学	26人
令和3年11月23日	キッズマニワーク2021 出店 ・真庭商工会青年部主催 ・真庭圏域の児童を対象とした職業体験イベント	11人

■新築物件への戸別訪問営業

- 訪問件数：15件
- 成約件数：7件（46.6%）

■新規テレビ加入者向けキャンペーン

ケーブルテレビに加入いただいた方を対象に、3,000円相当の地場産品をプレゼントしました。「キャンペーン中だから加入する」「どんなものが入っているか楽しみ」等の声もいただき、加入に向けた商材として活用出来ました。

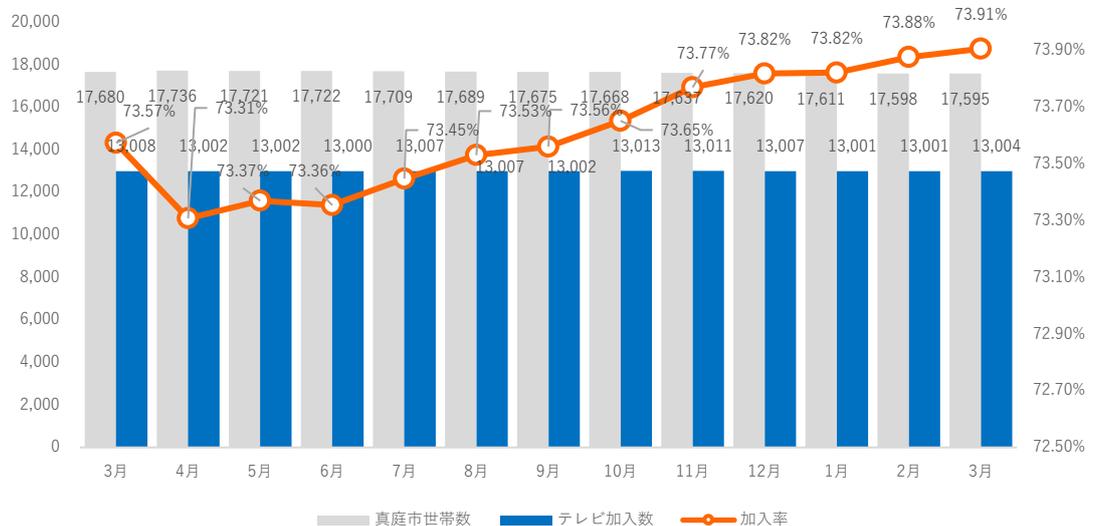
- プレゼント実施件数：82件

■その他

落合病院の新築移転に合わせ、テレビ加入に関する提案を行い、特殊加入に至りました。

【真庭ひかりネットワーク加入状況】

	令和3年度末	令和2年度末	増減
告知のみ	1,483件	1,533件	▲50件
通信利用加入	3,404件	3,236件	168件
テレビ加入（通信）	12,311件	12,304件	7件
テレビ加入	196件	194件	2件
入居者個別加入	468件	482件	▲14件
特殊加入	29件	28件	1件
合計	17,891件	17,777件	114件



(3) 利用料金等の収納状況に関すること

令和3年度 収納状況	利 用 料	調 定 額	245,403,900 円
		収 納 額	230,208,300 円
		未 収 額	15,195,600 円
		収 納 率	93.8%円
	負 担 金	調 定 額	10,964,000 円
		収 納 額	10,964,000 円
		未 収 額	0 円
		収 納 率	100.0%

※収納額については、令和4年3月31日までの額を記載しています。

公2 芸術文化の振興に関する事業

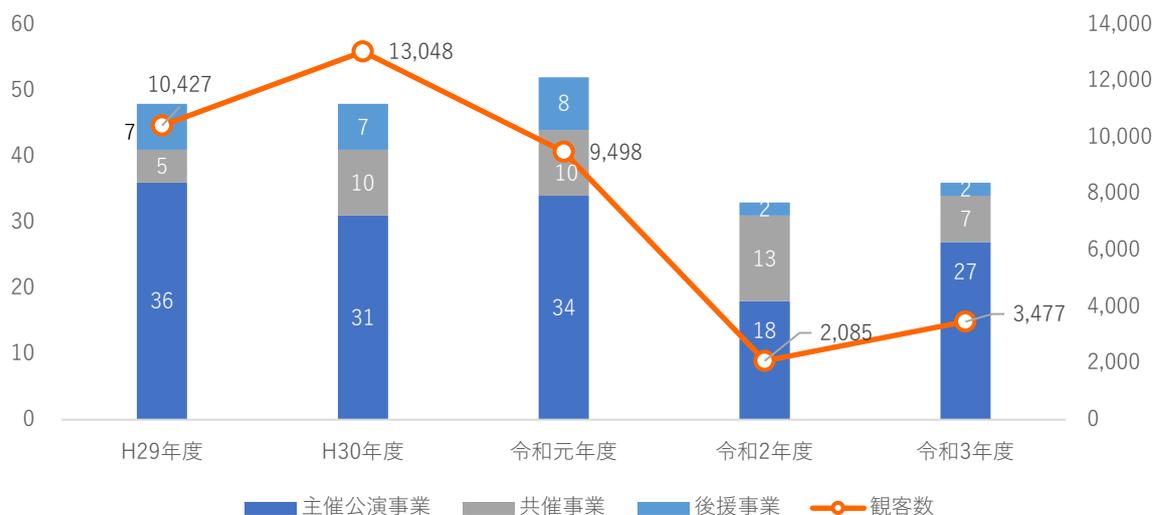
【事業の趣旨】

本事業は、真庭市において人を育て、夢を育み、文化の薫り高い豊かなまちづくりを推進するため、優れた音響性能を持つホールとして評価の高い「エスパホール」を中核として、魅力的な催しを企画開発するとともに、地方で味わう機会の少ない文化・芸術の公演等の各種事業を通じ、地域文化の一層の振興と普及を図る事業です。

【事業の概要】

- 1 芸術文化鑑賞事業
- 2 芸術文化普及・支援事業
- 3 芸術文化育成事業

【主催公演数等の推移】



※観客数は主催公演事業のみの観客数を計上

1 芸術文化鑑賞事業

芸術性に優れた、様々なジャンルにおけるプロの団体や個人を招聘し公演を開催することにより、来場者に優れた芸術文化に触れる機会を提供し、市内の芸術文化の向上を図ることを目的に、次に示す公演等を企画、開催しました。

令和2年度と比較し、新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした公演はなく延期で対応し、国や県、真庭市、公立文化施設協議会のコロナ対策指針を確認しながら開催しました。

(1)主な実施公演

・山田耕筰ルネッサンス 心で聴くメロディー

事業概要：平成27年から取り組んできた真庭市、瀧井敬子氏との共同事業。ピアニスト佐野隆哉氏の演奏で、昨年レコーディングした山田耕筰ピアノ曲全集制作を記念して開催しました。山田耕筰は、ピアノ曲以外にも様々な作品を残しており、山田耕筰の偉業や魅力を多くの方に知っていただけました。緊急事態宣言下での開催となり、来場者数に大きな影響を及ぼしました。

日時：令和3年5月16日（日）14:00～16:00

会場：エスパスホール

観客数：64人

・東京オリンピック2020展示

事業概要：東京オリンピック2020開催に伴い、真庭市から馬場馬術や市がホストタウンになっているドイツの紹介パネルを借り受け展示しました。合わせて、聖火ランナーを務めた野村昌子さんのご協力で、トーチも展示することができました。

日時：令和3年7月16日～25日

会場：エスパスホワイエ

・世良公則 進る ソロアコースティックライブ～生きるチカラが此処にある～

事業概要：長い間日本のロック界・歌謡界で、第一線で活躍されている世良公則さんをお迎えし、今年度の大規模公演の一つとして勝山文化センターで開催しました。観客は熱烈的なファンも多く、北海道や関東圏からの来場もありました。コロナ対策のためグループごとに配席し320名の来場を目標とし近県各地の公共ホールにチラシを送付するなど広範囲にPRしましたが、観客数は267名で目標には届きませんでした。

日時：令和3年7月23日（金・祝）16:00～17:30

会場：勝山文化センター ポンテホール

観客数：267人



山田耕筰ルネッサンス



オリンピック展示



世良公則 進る

・茂山狂言会 真庭公演

事業概要： 真庭市アウトリーチ事業がきっかけとなり、今回の公演開催となりました。コロナ対策で席はグループ席としました。また、退職互助組合のチケット補助の協力もありました。

日時： 令和3年11月23日（火・祝）13:30～15:00

会場： エスパスホール

観客数： 91人

・エスパスセンター開館25周年記念

NAOTO&清塚信也 アコースティック・デュオ コンサート

事業概要： ポップス&ロックを表現する唯一無二のヴァイオリニスト「NAOTO」と、繊細かつダイナミックな演奏で観客を魅了し続けるピアニスト「清塚信也」によるアコースティックデュオコンサートを開催し、チケットは2週間程度で完売しました。

日時： 令和4年2月4日（金）18:30～21:00

会場： エスパスホール

観客数： 418人

・エスパスセンター開館25周年記念 SKY-HI

事業概要： エスパスセンター開館25周年記念事業にふさわしく、若者を中心に幅広い世代に楽しんでもらえるライブが開催でき、岡山県内を中心に全国各地から真庭市に足を運んでいただきました。

情報解禁日からチケット発売までに100名を超える新規エスパスホール倶楽部会員の申込をいただき、電話対応に追われました。アーティスト公式SNSでの告知の効果は大きいと感じました。

日時： 令和4年3月26日（土）15:30～17:00

会場： 勝山文化センター ポンテホール

観客数： 666人



茂山狂言会



NAOTO&清塚信也



SKY-HI

・その他開催した公演等

概要	開催日	補足
シネエスパ 新解釈・三國志	R3.5.3	
小中学生へのプレゼントコンサート	R3.6.15	真庭市・岡フィルとの連携事業 2日開催のうち、1日目はコロナの影響で学校側から参加中止の申し出があった

子どもと楽しむ音楽会	R3.8.22	真庭市、(公財)岡山文化芸術創造、 (公財)真庭エスパス文化振興財 団 三者協定による公演
有森博ピアノリサイタル ロシアピアノの系譜 Vol.16 深みと眩しさと	R3.9.26	・昨年度に引き続き平土間での 公演 ・花水木によるロシアクッキーと コーヒーのセットを提供
シネエスパ 竜とそばかすの姫	R3.12.26	初めて勝山文化センターでシネエ スパを開催
たにぞうの親子で歌って・笑って・踊 ってコンサート	R4.2.23	

(2)子ども向けの取り組み

●市内小中学生を対象にしたジュニアシートの実施

→ 真庭市内の小中学生を対象に、芸術文化の普及および鑑賞者育成を目的としたジュニアシートを実施しました。ジュニアシートは、希望する小中学生が、無料もしくは高校生以下料金の半額程度で鑑賞できるようにする座席で、指定する主催事業の客席最後部、バルコニー席の概ね 50 席以内としています。

→ 利用者数：33 人

●真庭市コミュニティバスまにわくん往復乗車券プレゼント

→ 子ども達がエスパスのコンサートに来られる際に、真庭市コミュニティバス「まにわくん」の往復乗車券をプレゼントしました。

→ 利用者数：1 人

2 芸術文化普及・支援事業

市民が出演者として参加する公演や、音楽などの芸術に触れる機会の少ない高齢者等に、芸術文化を身近に感じてもらう機会を提供するとともに、市内芸術文化団体を支援・協働することにより、真庭市における芸術文化の普及と文化意識の高揚を図ることを目的とし、次のような公演の場を設けました。

市民出演公演では財団運営によるオリジナルスの各公演を実施しており、育成事業で育った市民アーティストが出演し、発表の場としての演奏会となっています。

(1)主な実施公演

・エスパス管弦楽団 第 17 回定期演奏会

事業概要：令和 2 年、ベートーヴェン生誕 250 年を迎え、交響曲第 3 番をメインプログラムとするコンサートを計画していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、同じプログラムのまま 1 年延期としました。令和 3 年度も状況が変わらず、公演は時短コンサートとしました。

演奏者、お客様双方に有意義な時間となり、文化活動の大切さを改めて実感しました。

日 時：令和 3 年 8 月 8 日 (日) 14:00~15:00 ※6 月 21 日から延期開催

会 場 : エスパホール

観 客 数 : 217 人

・構成劇 第九

事業概要 : 令和 3 年度も新型コロナの影響により、通常の第九演奏会を開催することは難しいと判断しました。「エスパ第九演奏会（平成 15 年～）」の火を消さないよう、令和 2 年度は「エスパ第九展」を開催し、令和 3 年度は更に新しい試みとして構成劇「第九」を企画し、オーケストラ演奏ではなくピアノ 4 手連弾版として開催しました。指揮者の萩原氏によるオリジナル台本で、第 1 楽章から第 3 楽章までは演者による構成劇に併せた抜粋での演奏、第 4 楽章は通常どおり合唱を含めた全曲演奏とし、全体で 1 時間程にまとめました。

日 時 : 令和 3 年 12 月 19 日（日）14:00～15:00

会 場 : エスパホール

観 客 数 : 146 人

・その他開催した公演等

概要	開催日	補足
スタインウェイピアノ・リレーコンサート	R3.4.29	
CD 録音 瀧井敬子氏企画 山田耕筰 CD 制作	R3.5.11～14	R2 年 11 月と今回で録音が全て完了
秋のエスパヴァイオリン発表会	R3.11.28	
エスパのど自慢 2022	R4.1.14	
初心者のための音楽ワークショップ 弾いてみよう！ヴァイオリン	R4.1.23	
エスパ管弦楽団 New Year Concert 2022	R4.1.30	
初心者のための音楽ワークショップ 弾いてみよう！コントラバス	R4.2.6	
はじめてのドラム教室 3	R4.2.19～20	
Espace Fun Space Festival 音楽とダンスの祭典	R4.2.20	
舞踊集団宮坂流 エスパ公演	R4.3.6	
早川太鼓エスパの陣 貳拾四 合縁奇縁	R4.3.22	
乳幼児向け事業「親子でうたおう心の歌」	通年	令和 3 年度新規事業。毎月 1 回、合唱団指導者 鈴木英子氏による童謡や子守り歌を歌う企画
2week gallery 私の小さな個展	通年	



構成劇 第九



エスパス のど自慢 2022



New Year Concert2022



Espace Fun Space Festival



早川太鼓エスパスの陣

(2)地域と協働した地域のシンボルにふさわしい発信性のある事業

【共催事業】

事業名	開催日	状況	備考
Dance Club VIVO 第3回発表会	R3.4.4	開催	主催：Dance Club VIVO
偉大なる芸術家へのオマージュ スタイナート・ジャパンツアー	R3.6.3	開催	主催：谷口賢記とスタイナート 後援会
旧遷喬尋常小学校こども学芸員 養成講座	R3.7.3,10, 31、R3.8.7	開催	主催：真庭市スポーツ・文化振 興課
日本震災復興祈願チャリティーイ ベント RUN FOR TOMORROW	R3.7.10	中止	主催：アコースティックバンド 勇次
県北合唱フェスティバル	R3.7.18	中止	主催：岡山県北部合唱団協議会
Gatti Brass Ensemble	R3.8.15	中止	主催：Gatti Brass Ensemble
早川太鼓幻想劇場	R3.9.20	中止	主催：早川太鼓
彩彩展 それぞれの色を探して。	R3.10.7 ~ 19	開催	主催：津山柳通り美術教室
hitosaji no shiawaseten	R3.11.7	中止	主催：hitosaji
ハートフル・コンサート 2021	R3.11.21	開催	主催：バスティン研究会
まにわ市民大学講座 「名越康文講演会」	R4.1.29	開催	主催： 真庭市教育委員会生涯学習課
TIES MUSIC VOL.15 「Spring Has Come！」	R4.3.21	開催	主催：TIES MUSIC



Dance Club Vivo



彩彩展

【後援事業】

事業名	開催日	状況	備考
ピティナ・ピアノコンペティション 津山地区予選	R6.6.26 ~ 27	開催	主催：(社) 全日本ピアノ指導者 協会津山支部
2021 真庭地区ピアノ合同発表会	R3.7.19	開催	主催：ヨシダミュージック株式 会社

【地域の賑わい貢献】

事業名	開催日	状況	備考
エスパス館内フリーマーケット		中止	
エスパスの新しいフリーマーケット のカタチ くるま de フリマ	R4.1.23	開催	コロナ対策として、車(屋外)で 販売という新しいスタイルのフ リマを企画、開催 ※真庭を元気にする活動応援 補助金

3 芸術文化育成事業

市民参加による芸術文化育成講座（財団事業名：エスパスオリジナルス）を開催し、芸術文化に係る人材や団体の育成を行い、将来の真庭市の文化水準向上に向けた基盤づくりに取り組みました。

【エスパスオリジナルス】

教室名	練習回数	延べ参加人数
エスパス少年少女合唱団	29 回	264 人
エスパスジュニアオーケストラ	36 回	201 人
エスパス和太鼓クラブ	34 回	134 人
エスパス女声合唱団	28 回	504 人
エスパス男声合唱団	28 回	316 人
エスパス管弦楽団	32 回	425 人
エスパス弦楽教室 ヴァイオリン	18 回	25 人
エスパス弦楽教室 コントラバス	25 回	47 人
初心者のための第九練習会	開催なし	なし
エスパス第九合唱団の運営	12 回	416 人

【久世エスパセンター施設の維持管理】

利用者に安心・安全に利用していただくため、施設設備等のメンテナンスを実施しました。舞台機構、音響・照明設備、エレベータ等の特殊設備は専門業者に委託し、関係法令に基づく法定検査を行いました。開館して24年目を迎え、修繕箇所が増えているため注意を払い善良な管理に努めました。

1 施設及び設備の管理

(1)施設・設備の修繕状況

(専門事業者対応)

- ・空調設備第一期工事
- ・局舎、エスパセンター高圧電源設備修繕工事
- ・トイレの手洗い場
- ・エスパセンター屋根雪止め
- ・屋外ポスター掲示版のLED化
- ・会議研修室 音響設備
- ・職員通用口ドアクローザー修繕
- ・屋外旧遷トイレ排水管修理、手洗い部品取替え
- ・客席誘導灯修繕 等々

(職員対応)

- ・館内電球交換
- ・軽微な樹木剪定作業
- ・壁紙、備品等の軽微な修繕

(2)利用者の安全に関すること

利用者の安全を確保するため、防火管理者の資格を有する職員による、計画的な避難訓練の実施、AED研修会を開催しました。また、設置しているAEDのバッテリーチェックを毎朝行いました。

他にも、安全運転管理者を置き、安全運転を職員に徹底するとともに、公用車の日常点検を毎週実施しました。

概要	実施日	補足
消火訓練	R3.7.26	消火栓使用
避難・消火・通報訓練	R3.8.31	
避難・消火訓練	R3.11.30	室内消火栓使用
旧遷喬小消火訓練	R4.1.25	
心肺蘇生法とAED使用方法の研修会	R4.2.15	コロナ対策のため、DVD鑑賞と消防署員の実技で研修
公用車点検	毎週火曜日	

2 その他管理運営に関し必要な業務に関すること

その他管理運営に必要な業務として、主に次に示す事項について実施しました。

- ・情報公開
- ・住民の意見反映
- ・職員研修・資格取得等

- ステージテクニカルアカデミー2021 島根県舞台芸術セミナー
- 玉掛け技能講習 等々
- ・事業の広報
 - エスパス情報紙「ESPACE」の発行
 - SNSによる情報発信、提供
 - 市内外へのポスター掲示、会員、公共機関等へのチラシ配布
 - 告知放送
 - メディアを活用した情報発信
- ・社会貢献
 - 社会見学（R3.9.7 川上小学校）
 - 教育活動への協力（遷喬小学校3年生 地域の歴史学習、顔はめパネルの展示協力）



ホールで校歌を歌う川上小 児童

- ・施設の開館状況（新型コロナウイルス感染拡大の影響）

期間	状況
R3.4.25～5.16	緊急事態宣言下の地域の方は、施設使用の受け入れ不可
R3.5.17～31	緊急事態宣言下の地域の方は、施設使用の受け入れ不可。市民のみ20時までの使用可
R3.6.1～20	市民のみ21時までの使用可
R3.6.21～	22時まで開館とし、市内外の使用可。緊急事態宣言下の地域の方は、施設使用の受け入れ不可。
R3.8.27～9.12	岡山県緊急事態宣言期間。市民のみ20時まで使用可
R3.9.13～30	岡山県まん延防止等重点措置期間。市民のみ20時まで使用可
R4.1.27～2.20	岡山県まん延防止等重点措置期間。市民のみ22時まで使用可
R4.2.21～3.6	岡山県まん延防止等重点措置期間。市民のみ22時まで使用可

※10月1日以降は通常開館、緊急事態宣言下の地域の方は使用不可。まん延防止措置の都道府県からの予約は可

公3 文化財の保存、活用に関する事業

【事業の趣旨】

本事業は、国指定重要文化財である旧遷喬尋常小学校の保存と活用を図り、もって芸術文化の振興と地域活性化を図る事業です。

【事業の概要】

- 1 施設の維持管理
- 2 一般見学のための公開

1 施設の維持管理

管理人を配置し、日常点検、清掃等を行い、設備の維持・保全や来館者への消毒の徹底、連絡先の確認等を実施しました。

毎月1回の「大掃除の時間」は新型コロナウイルス感染症予防のため、4月から中止しました。

また、「なつかしの学校給食」も、市民団体まにワッショイと協議の上、同様の理由により、中止しました。

市民による観光ボランティアガイドは、数件ですがツアー対応を行いました。

2 一般見学のための公開

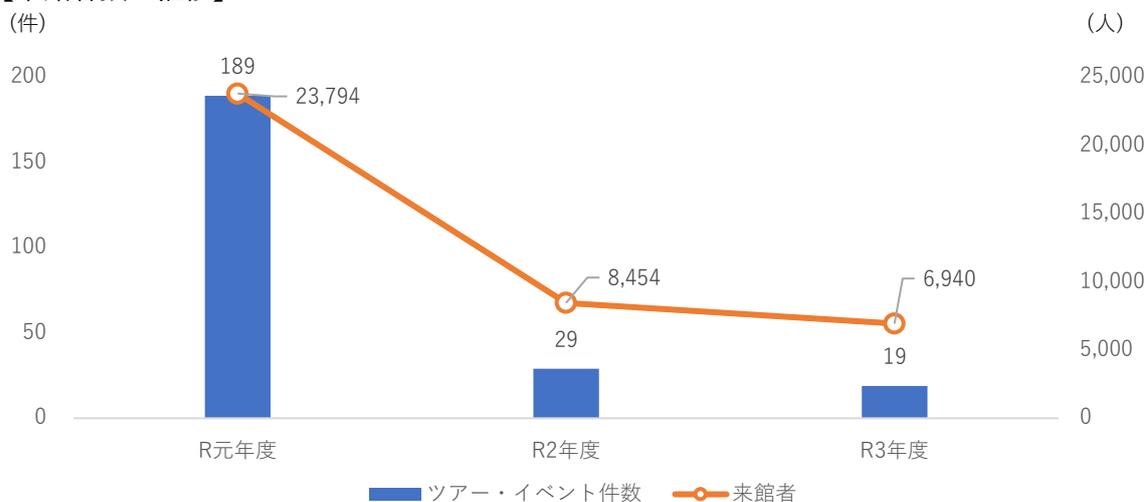
一般公開を行うとともに、旧遷喬尋常小学校ボランティアガイドクラブの協力を得て希望者には、案内や解説を行い、重要文化財の歴史や建築様式を伝え、その魅力に触れていただきました。

令和3年度のツアー申込は15件で、新型コロナウイルスの影響を大きく受けました。

■施設の利用状況

- ・「彩彩展」それぞれの色を探して
→ 令和3年10月7日～19日

【来館者数の推移】



公 4 図書、記録等を収集、整理、保管して利用者の閲覧に供する事業

【事業の趣旨】

本事業は、真庭市において、図書・雑誌・記録・視聴覚資料、その他必要な資料を収集、保管して、利用者の閲覧に供し、もって教育と文化の発展に寄与することを目的とする事業です。

1 図書館運営事業

【真庭市立久世図書館の概要】

項 目	令和 3 年度	令和 2 年度	比較増減
蔵 書 数	67,928 冊	67,186 冊	742 冊
貸 出 者 数	10,032 人	9,853 人	179 人
貸 出 冊 数	51,796 冊	51,096 冊	700 冊
レファレンス（調査相談）件数	104 件	79 件	25 件

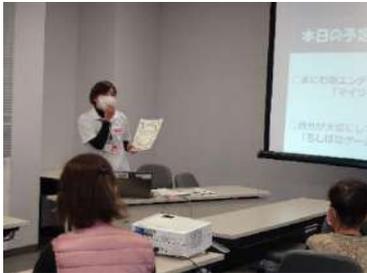


(1)資料の収集保存に関すること

開かれた図書館として、幼児から高齢者まですべての人の生涯学習の場として、資料の収集・保存、提供に努めるとともに、児童の読書意欲と読書習慣の育成のための資料収集や読書環境の整備に努めました。また、資料の傷みには職員ができるだけ修復を施し再び配架しました。

(2)主催行事に関すること

開催日等	行事名	内容	参加者 (人)	前年度 (人)
毎週月	おはなし会「ぽかぽかえほんぼこ」	絵本読み聞かせ (乳幼児向)	596	641
毎週土	おはなし会「おはなし列車」	絵本読み聞かせ (幼・小向)	226	171
週 2 回	絵本よみきかせボランティア		155	171

月1回	蔵書整理ボランティア		25	39
年3回	名画鑑賞会	映画上映	57	35
月1回	やってみよう！どうぶつしょうぎ	どうぶつしょうぎ 体験	33	11
4/23~	図書館ビンゴ(全館行事)	ビンゴゲーム	60	—
4/25	しおりを作ろう！	工作(しおり作り)	1	—
7/24	謎の覆面ブックスあらわる！ (全館行事)	本のたまたまばこ	100	100
夏休み	体験！夏休み図書館ボランティア	蔵書整理	29	31
10/2,3	本のリサイクルマーケット		148	52
11/3	なぞとき図書館	クイズ	60	71
11/6	マイライフノート書き方講座 	講師： 真庭市健康推進課	6	—
11/28	ダンボールミュージック	講師：Art group.mo	23	24
12/19	クリスマスカードを作ろう	工作(カード作り)	10	8
1/8	ブックじ(全館行事)	くじびき	50	50
1/16	百人一首大会	百人一首体験会	7	16
2/6	野村昌子さんとバルーンアート体験	講師： 野村昌子先生	28	36
合 計			1,614	1,446

(3)共催行事に関すること

開催日	行事名	内容	参加者 (人)	前年度 (人)
中止	きいてほっこり昔語り	まにわ語りの会 発表会	—	—
合 計			—	—

(4)協力行事に関すること

開催日	行事名	主催者	内容	参加者 (人)	前年度 (人)
月1回	読書会	読書会有志の会	読書会	38	39
月1回	音読して楽しむ 「源氏物語」	源氏物語 有志の会	読書会	64	63
月1回	令和万葉の会	令和万葉の会 有志の会	読書会	51	58

月1回	縁台将棋	久世将棋倶楽部	将棋	5	5
月1回	読んで楽しむ伊勢物語	伊勢物語 有志の会	読書会	12	—
合 計				170	165

(5)他施設との連携に関すること

久世地区内の園・小・中学校、真庭市健康推進課等に月1回配本をするとともに、図書館への意見をうかがいました。真庭市内の園・小学校へ定期的にボランティアを派遣し絵本読みかせや昔語りを行いました。学校での学習成果の図書館展示を行いました。

また、真庭市内の小学校をはじめ各種団体の施設の見学等を受け入れました。

(6)職員の研修業務に関すること

岡山県立図書館主催のリモート研修に3回参加しました。視察は今回も新型コロナウイルスの影響で中止しました。

避難訓練の実施やAED講習等を通じて、緊急時の対策を行いました。

(7)利用者の意見反映に関すること

お客様から意見をいただく「おたよりボックス」を館内に常設しました。また、本の予約リクエストも常時受け付け、年間予約16,799冊(前年度14,862冊)リクエスト1,005冊(前年度988冊)に応えることが出来ました。

春のボランティア参加者の声を聴く会が開催できました。夏には雑誌アンケートを実施し購入雑誌入替の参考にすることができました。

全館の取り組みとして、昨年に引き続き図書館そだて会議を行い市民の方の意見をうかがいました。

(8)広報活動に関すること

図書館だより「まなぶ〜る」を毎月発行、また、ホームページやFacebookで随時市民への情報提供を行いました。新聞記事にも取り上げてもらいました。

その他、真庭いきいきテレビ・告知放送等を活用し新しい本や特集本、行事の案内、行事のニュース放送を頻繁に行いました。

収益目的事業

収1 テレビコマーシャル等の作成、放送事業

1 テレビコマーシャル、番組制作等の実績

地元企業や団体からテレビCMやPR番組制作の依頼を受け、ケーブルテレビを通じて放送を行いました。

項目	令和3年度	令和2年度	比較増減
テレビコマーシャル			
当初予算	3,500,000円	3,000,000円	+500,000円
依頼事業者数	25事業所	31事業所	▲6事業所
決算額	3,118,120円	3,985,828円	▲867,708円
達成率	89%	133%	
番組制作			
当初予算	3,000,000円	2,000,000円	+1,000,000円
依頼事業者数	32事業所	24事業所	+8事業所
決算額	9,158,146円	8,473,145円	+685,001円
達成率	305%	424%	

※コマーシャル放送：【別紙】令和3年度コマーシャル出稿依頼事業者一覧（付属資料P14）

※主な番組制作：【別紙】令和3年度番組制作依頼事業者一覧（付属資料P15）

- ・企業プロモーションビデオ制作（蒜山酪農農業協同組合）
- ・林業促進映像制作（真庭市林業・バイオマス課）
- ・20歳の集い 恩師からのビデオレター（真庭市くらし安全課）
- ・勝山ふるさとみじ祭りテレビ開催（実行委員会）等

収2 公益目的以外の施設貸与事業

1 施設貸与の実績

エスパスセンター（財団施設名称）は、ホールのほか会議室等の諸室があり、公益目的使用を優先しながら、一般市民、企業、団体を対象に貸館事業を実施しました。

また、各会議室等にWi-Fi環境を整備（真庭市対応）し、施設の魅力と利用者の利便性の向上を図りました。

【貸館等利用状況】



収 3 コーヒーショップの運営事業

1 コーヒーショップ(喫茶「花水木」)の運営状況

エスパスセンターに来館される方を対象に、コーヒーや軽食を提供しました。市内の有志が毎月開催している「うたごえ喫茶」は、令和2年度に続き中止となりましたが、花水木の自主事業として「Remember BEATLS」を開催しました。

また、日々の売上確保のため、月替わりのケーキ販売、軽食メニューの充実等の対策を講じましたが、厳しい経営となりました。

- ・令和3年度売上：4,241 千円
- ・令和3年度支出：5,234 千円
- ・収支差額 ：▲993 千円

その他事業

他1 その他市からの文化事業等の受託事業

1 告知関連事業(告知管理・設置・放送事業)

新規加入者に対する行政情報告知端末の設置工事や、告知端末の管理・保守、録音放送業務を実施しました。

2 IT ヘルプデスク事業

真庭市の庁内システム及び庁内ネットワークに関する、市職員からの問合せに対応し、システム等利用者の問題解決、システム、ネットワークの利活用を推進する事業を実施しました。

3 広報真庭一部作成事業

「広報真庭」の『読者の広場』、『ぐるっと真庭まちの話題』、『裏表紙』等、計7ページ分を取材・制作しました。

4 物販事業(旧遷喬尋常小学校での物販)

新型コロナウイルス感染症拡大のためバスツアーや来館者が減少し、販売もほとんどありませんでした。

5 音楽アウトリーチ事業

真庭市から委託を受け、次世代育成事業の一環として、小中学校へのアウトリーチ事業を実施しました。

アーティスト(継承略)	開催日	対象	観覧児童数	補足
高見信行 (トランペット) 大山宮和湖 (ピアノ)	R3.10.22	遷喬小	62 人	
渡辺玲雄 (コントラバス) 江川智沙穂 (ピアノ)	R4.2.14~15	天津小	106 人	
國末貞仁 (サクソフォーン) 中川賢一 (ピアノ)	R4.3.7 R4.3.8	月田小 草加部小 美川小	44 人 36 人 37 人	
妹尾美穂 (鍵盤ハーモニカ) 保坂修正 (ピアノ) ユカボン (パーカッション)	R3.11.19 R3.12.14 R4.1.14	落合小	23 人 23 人 23 人	・鍵盤ハーモニカ 指導

6 勝山文化センター・ポンテホール舞台管理運営事業

令和3年度から真庭市からの委託を受け、次に示す業務を実施しました。

■日常業務

- ・舞台機構設備、照明設備、備品等の管理、保守、日常点検
- ・各設備の専門業者による保守点検立会
- ・各設備の軽微な修繕

■公演に係る業務

- ・公演開催に係る準備作業、当日の進行、舞台設備操作における技術要件確認、利用者への指導及び助言
- ・持ち込み器具等の事前確認、搬入・搬出時の立会い等
- ・舞台設営、公演に関する安全管理及び指導（避難誘導等含む）
- ・舞台関連設備の操作取扱いに関する利用者への助言、指導
- ・公演終了後の、設備・備品等の損傷確認及び終了点検

7 勝山文化センター「DRUM TAO」公演実施委託事業

真庭市勝山振興局が毎年開催していた事業「DRUM TAO 公演」の運営を受託し、開催準備・PR活動等を実施しました。

- 公演日：令和3年10月3日（日）
- 観客数：279人

8 利用者向けデジタル活用支援推進事業

総務省「利用者向けデジタル活用支援推進事業」に採択され、主にシニア世代向けのスマート

フォン教室を開催しました。

- 実施期間：令和3年9月21日～令和4年2月2日
- 実施概要：市内8会場で計46回の教室や相談会を開催
 - ・基本講座（電話、カメラ、ネット、SNS等の基本操作）
 - ・応用講座（マイナンバーカード申請）
 - ・相談会（基本講座の内容も含め、参加者の質問や相談に回答）
- 参加者数：延べ240人

9 勝山文化センター舞台図面等作成委託

真庭市から勝山文化センターの舞台図面等の作成を受託しました。

10 令和3年度真庭SDGs円卓会議運営委託

真庭市から真庭SDGs円卓会議の舞台運営関連業務と生中継や配信業務を受託しました。

法人管理部門

1 役員に関する事項

【評議員】

役職	常勤・非常勤	氏名	備考
評議員	非常勤	三ツ 宗宏	
同	同	大月 隆行	※前任の山下豊氏辞任により、令和3年6月評議員会で選任
同	同	岡崎 陽輔	
同	同	松浦 躬行	
同	同	長尾 敬介	
同	同	宮島 美穂	
同	同	大盛 陽子	
同	同	山崎 樹一郎	
同	同	篠田 信子	
同	同	森田 秀之	

【理事】

役職	常勤・非常勤	氏名	備考
代表理事	非常勤	澁澤 壽一	理事長
代表理事	同	福島 啓介	副理事長
業務執行理事	常勤	高柳 克彦	常務理事
理事	非常勤	吉永 忠洋	
同	同	平泉 繁	
同	同	石賀 幹浩	
同	同	船津 洋子	

同	同	堀 一彦	
同	同	鈴木 英子	
同	同	富松 文治	
同	同	森本 陸夫	
同	同	林 咲子	

【監事】

役職	常勤・非常勤	氏名	備考
監 事	常勤	山中 俊男	
同	非常勤	矢谷 佳子	

令和4年3月31日現在

2 職員に関する事項

役職・所属等	職名等	人数	備考
事務局長		1	(常務理事兼務)
次 長		1	
職 員	課 長	4	
	正職員	17	
	契約職員等	8	
合 計		31人	

令和4年3月31日現在

3 理事会・評議員会の開催状況

・令和3年度第1回理事会

日時・場所 令和3年6月11日(金) エスパス会議研修室

- 決議事項
- ・令和2年度事業報告について
 - ・令和2年度決算について
 - ・特定費用準備資金の保有について
 - ・評議員の推薦について
 - ・令和3年度第1回評議員会の招集について

出席等 出席理事 10名 出席監事 2名 欠席理事 2名

・令和3年度第1回評議員会

日時・場所 令和3年6月24日(木) エスパス会議研修室

- 決議事項
- ・令和2年度事業報告について
 - ・令和2年度決算について
 - ・評議員の選任について

出席等 出席評議員 8名 出席監事 2名 欠席評議員 2名
出席理事 3名

・令和3年度第2回理事会

日時・場所 令和3年11月15日(月) エスパス会議研修室

- 決議事項
- ・令和3年度事業計画の変更について
 - ・令和3年度補正予算(第1号)について

報告事項 ・令和3年度第2回評議員会の招集について
・令和3年度上半期事業報告及び決算報告について
・令和3年度上半期代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について

出席等 出席理事 11名 出席監事 2名 欠席理事 1名

・令和3年度第2回評議員会

日時・場所 令和3年11月25日(木) エスパス会議研修室

決議事項 ・令和3年度事業計画の変更について
・令和3年度補正予算(第1号)について

報告事項 ・令和3年度上半期事業報告及び決算報告について

出席等 出席評議員 9名 出席監事 2名 欠席評議員 1名
出席理事 3名

・令和3年度第3回理事会

日時・場所 令和4年3月15日(火) エスパス会議研修室

決議事項 ・令和3年度補正予算(第2号)について
・公益法人認定変更申請について
・特定費用準備資金の目的外取崩について
・文化活動応援基金取扱規程について
・令和4年度事業計画について
・令和4年度当初予算について
・令和3年度第3回評議員会の招集について

出席等 出席理事 12名 出席監事 2名

・令和3年度第3回評議員会

日時・場所 令和4年3月22日(火) エスパス会議研修室

決議事項 ・令和3年度補正予算(第2号)について
・公益法人認定変更申請について
・文化活動応援基金取扱規程について
・令和4年度事業計画について
・令和4年度当初予算について

出席等 出席評議員 10名 出席監事 2名 出席理事 3名

4 その他事項

記載事項はありません。

5 事業報告の付属明細書

事業報告の内容を補則すべき重要な事項はないので、付属明細書は作成していません。

以上